

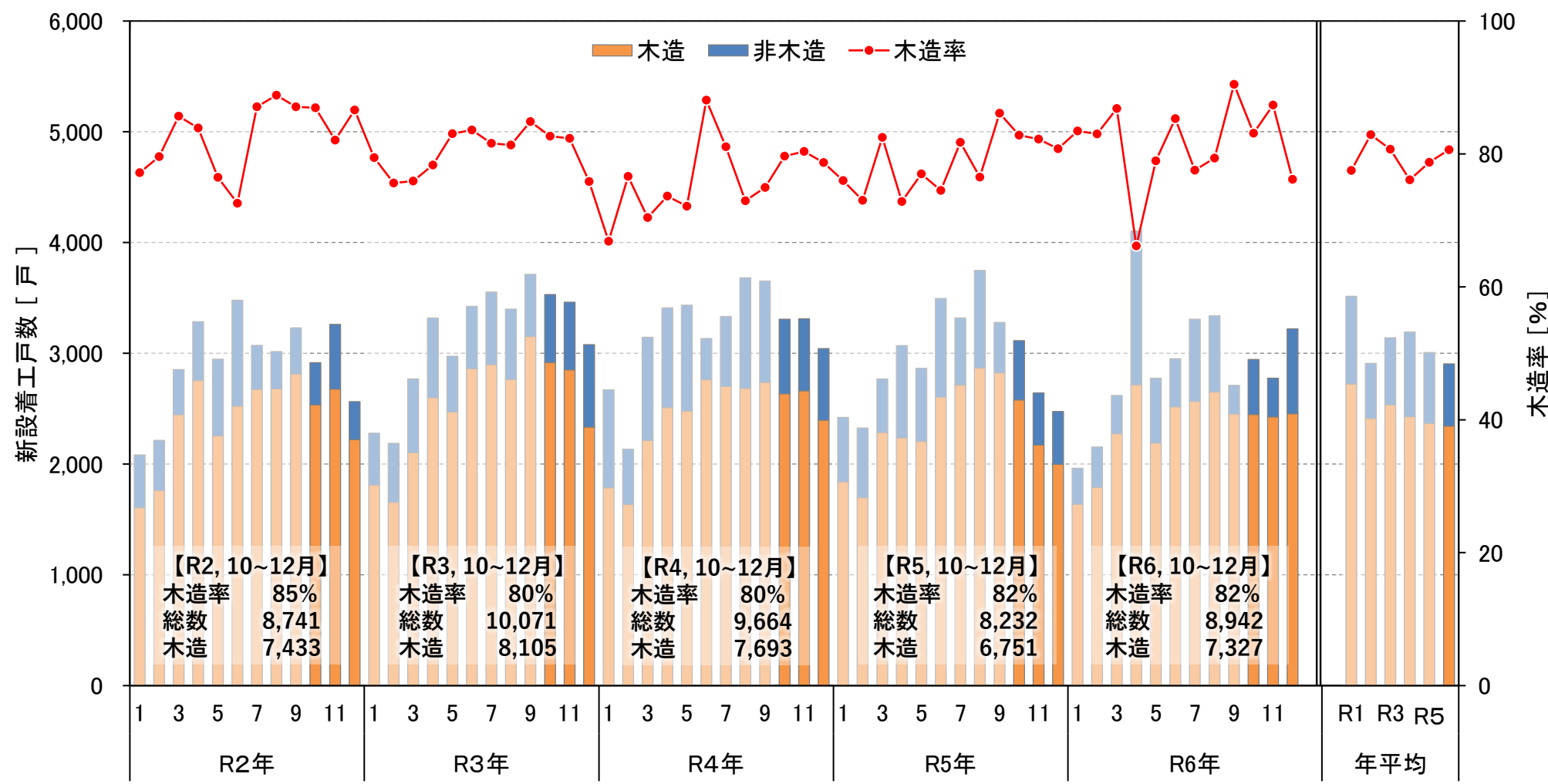
東北森林管理局管内の 木材需給及び木材価格等について

令和7年3月3日(月)

東北森林管理局

■ 東北森林管理局管内5県の新設住宅着工戸数の推移（令和2年1月～令和6年12月）

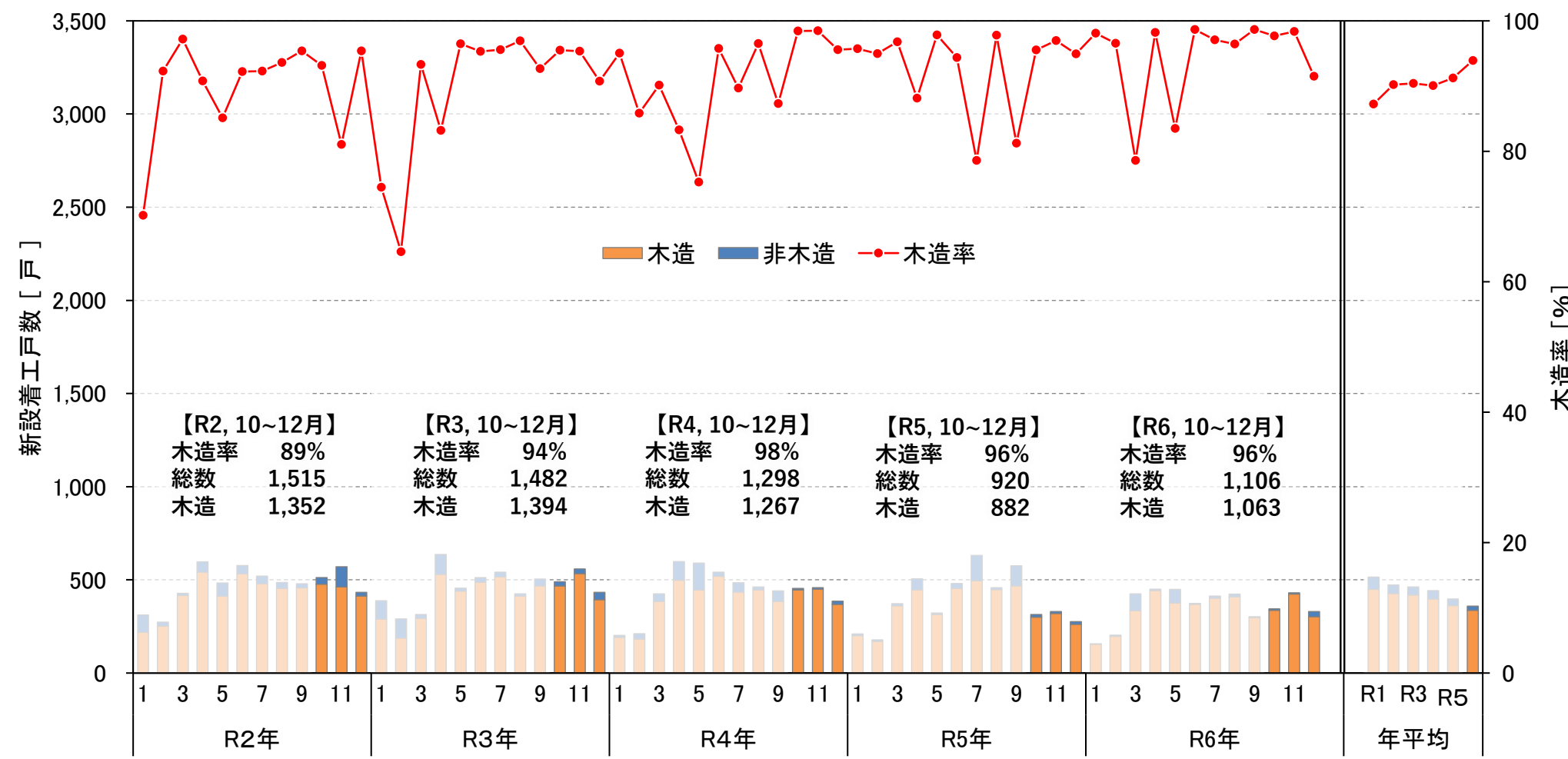
○ 東北5県の令和6年10～12月期の新設住宅着工戸数は、昨年同期より710戸（8.6%）増加した。
この期間の木造は昨年同期より576戸増加し、木造率は±0%。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

青森県の新設住宅着工戸数の推移（令和2年1月～令和6年12月）

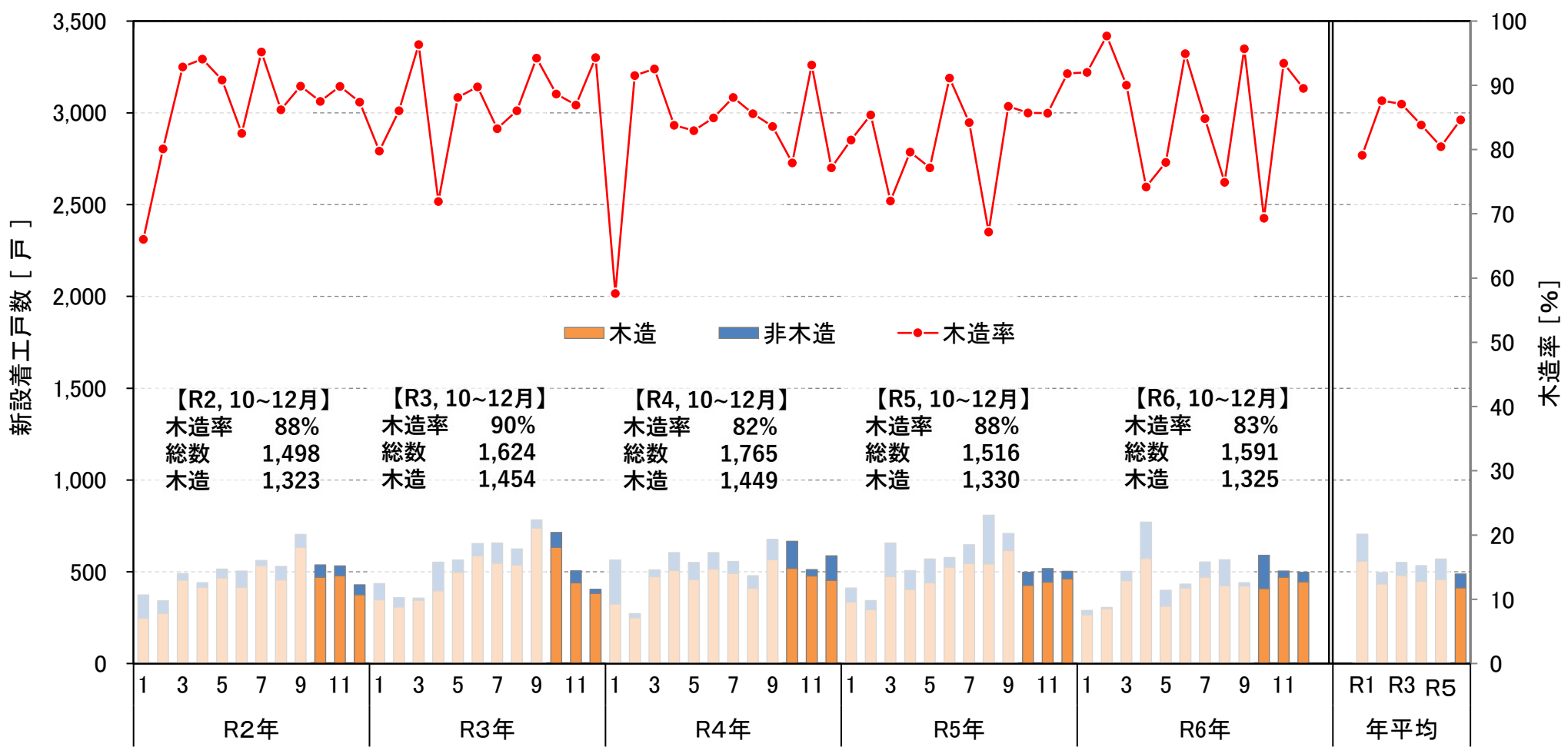
○ 青森県の令和6年10～12月期の新設住宅着工戸数は、去年同期より186戸（20.3%）増加した。
この期間の木造は181戸増加し、木造率は±0%。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 岩手県の新設住宅着工戸数の推移（令和2年1月～令和6年12月）

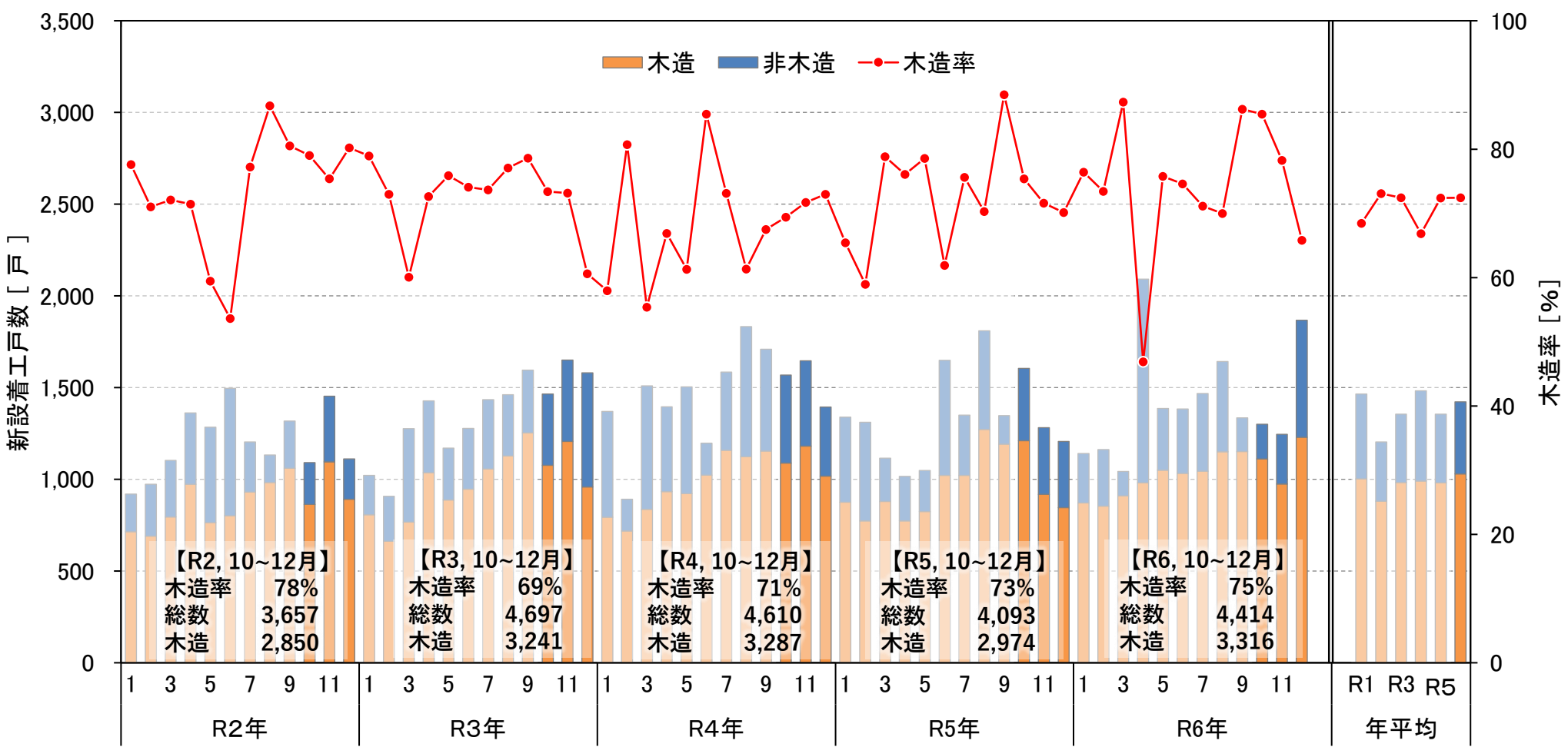
○ 岩手県の令和6年10～12月期の新設住宅着工戸数は、去年同期より75戸（4.9%）増加した。
この期間の木造は5戸減少し、木造率は5%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

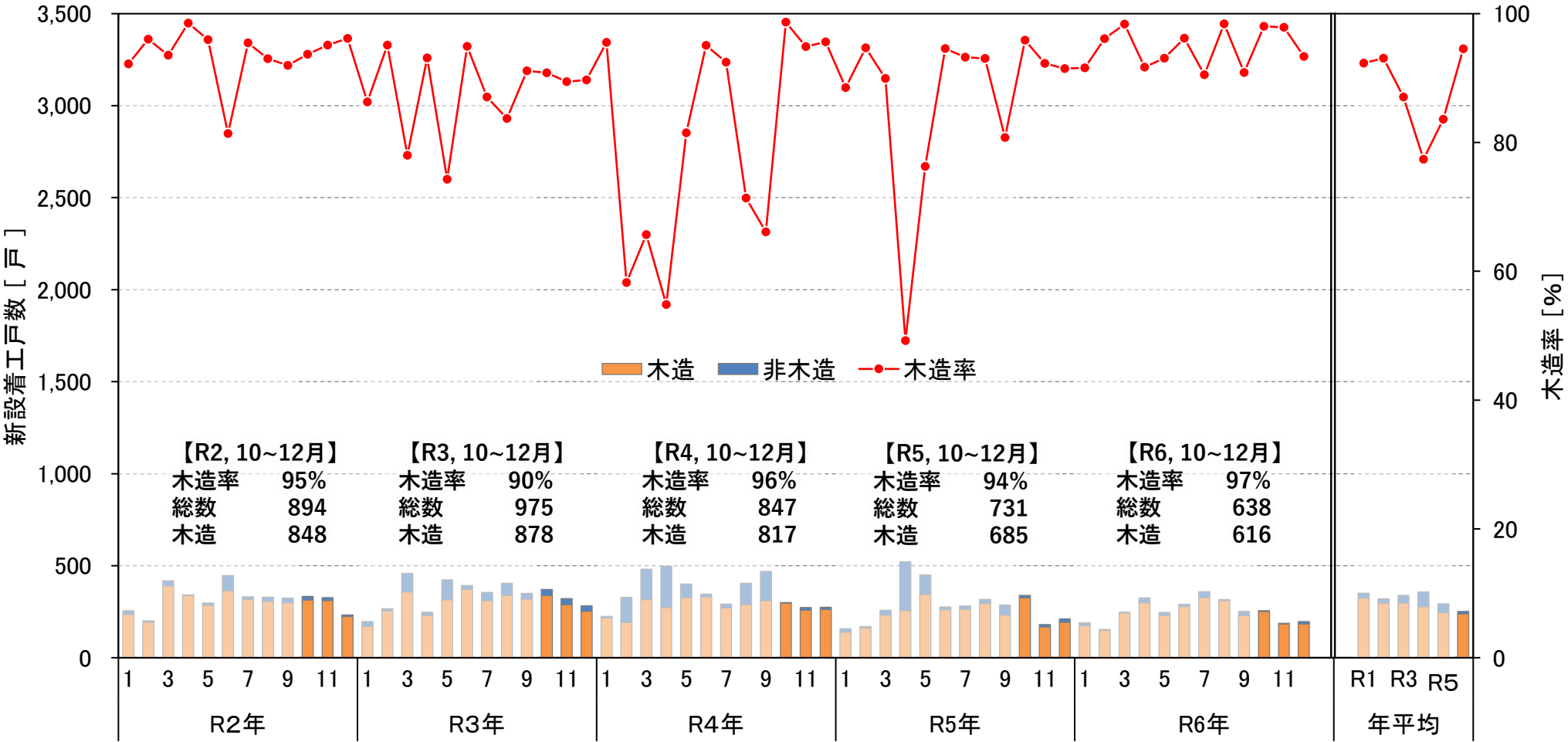
■ 宮城県の新設住宅着工戸数の推移（令和2年1月～令和6年12月）

○ 宮城県の令和6年10～12月期の新設住宅着工戸数は、去年同期より321戸（7.8%）増加した。
この期間の木造は342戸増加し、木造率は2%増加した。



■ 秋田県の新設住宅着工戸数の推移（令和2年1月～令和6年12月）

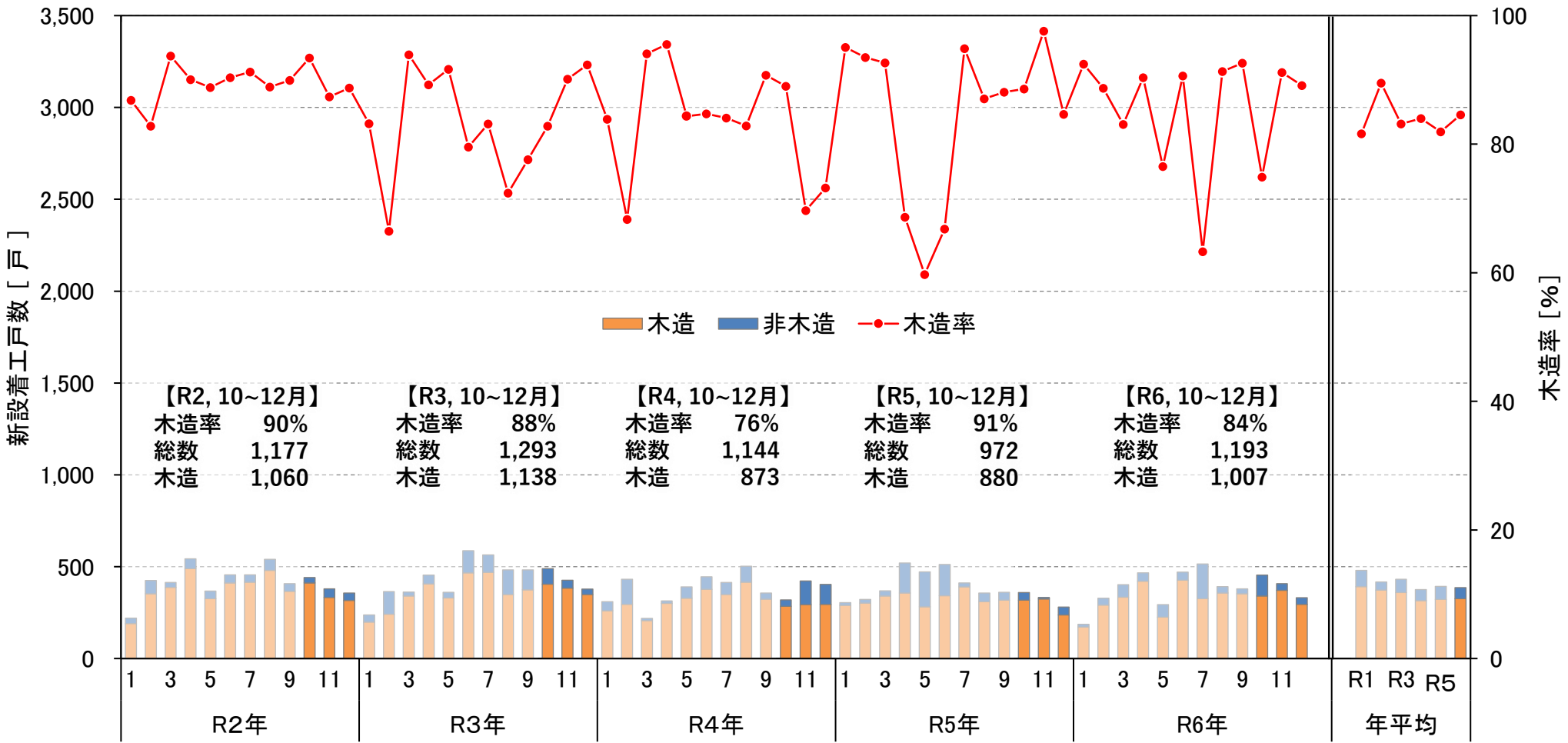
○ 秋田県の令和6年10～12月期の新設住宅着工戸数は、去年同期より93戸（12.7%）減少した。
この期間の木造は69戸減少し、木造率は3%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

山形県の新設住宅着工戸数の推移（令和2年1月～令和6年12月）

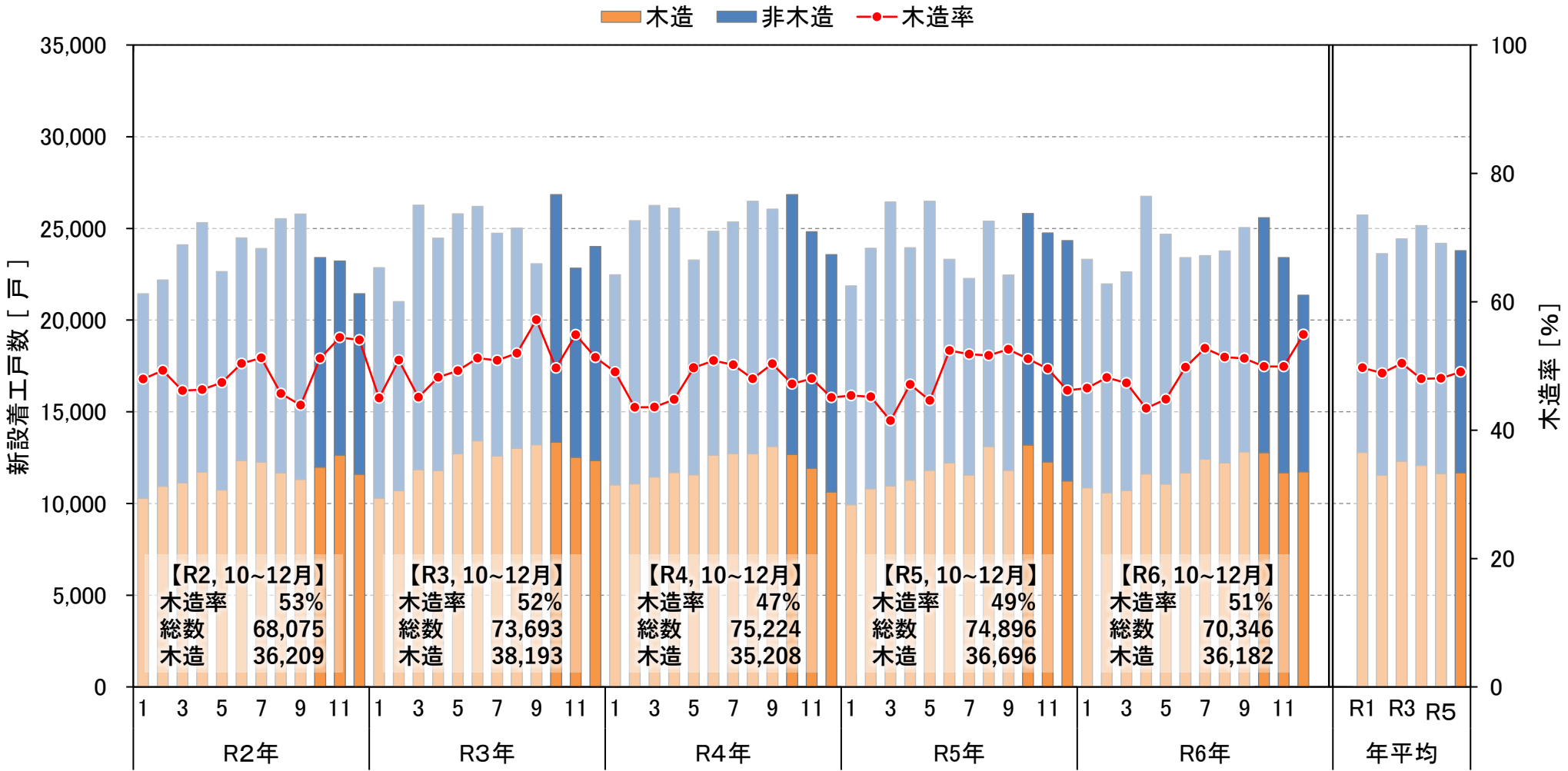
○ 山形県の令和6年10～12月期の新設住宅着工数は、昨年同期より221戸（22.7%）増加した。
この期間の木造は127戸増加し、木造率は7%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設住宅着工戸数の推移 (令和2年1月～令和6年12月)

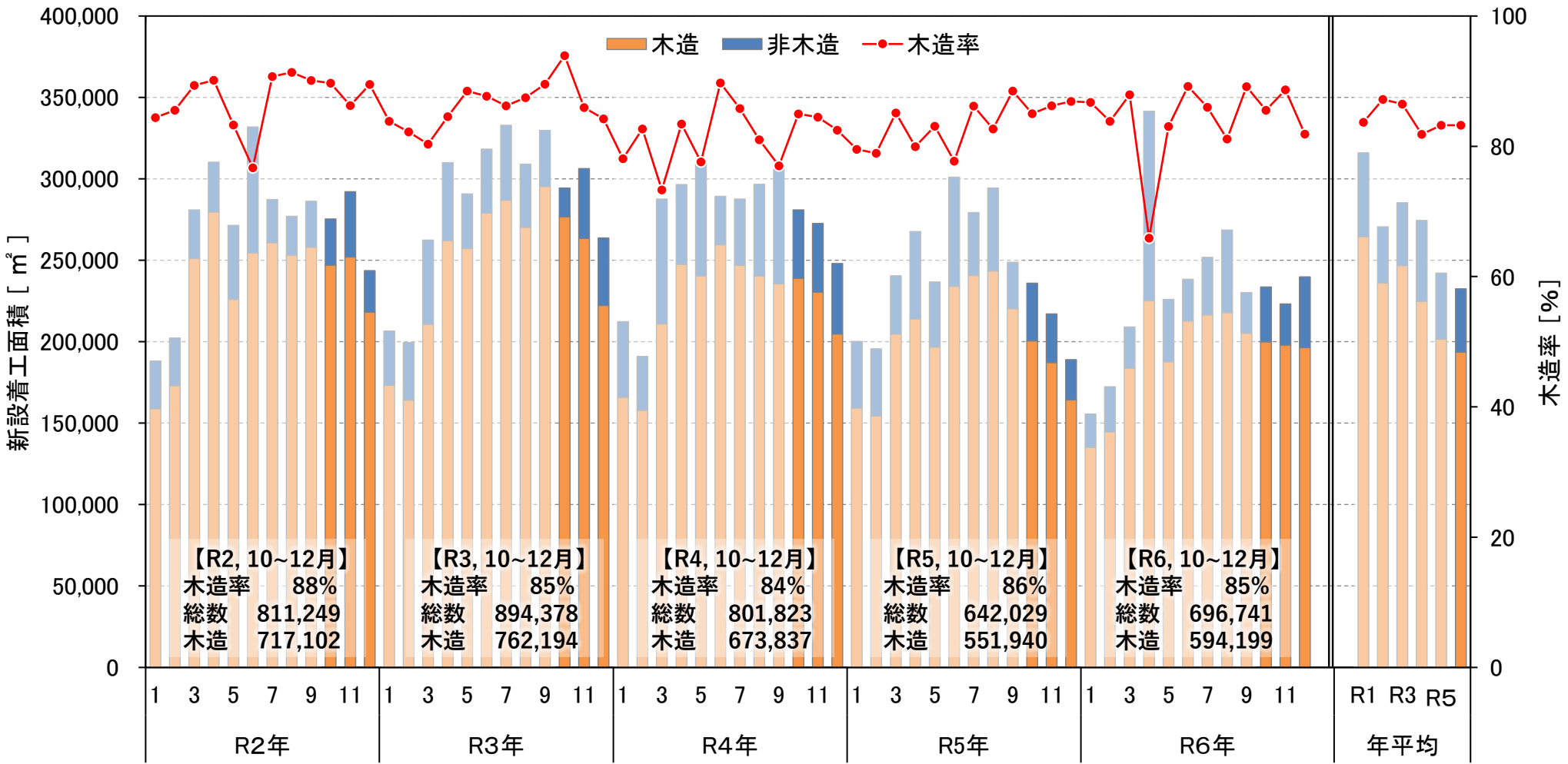
○ 関東主要都市の令和6年10～12月期の新設住宅着工戸数は、去年同期より4,550戸(6.1%)減少した。
この期間の木造は514戸減少し、木造率は2%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 東北森林管理局管内5県の新設住宅着工面積の推移（令和2年1月～令和6年12月）

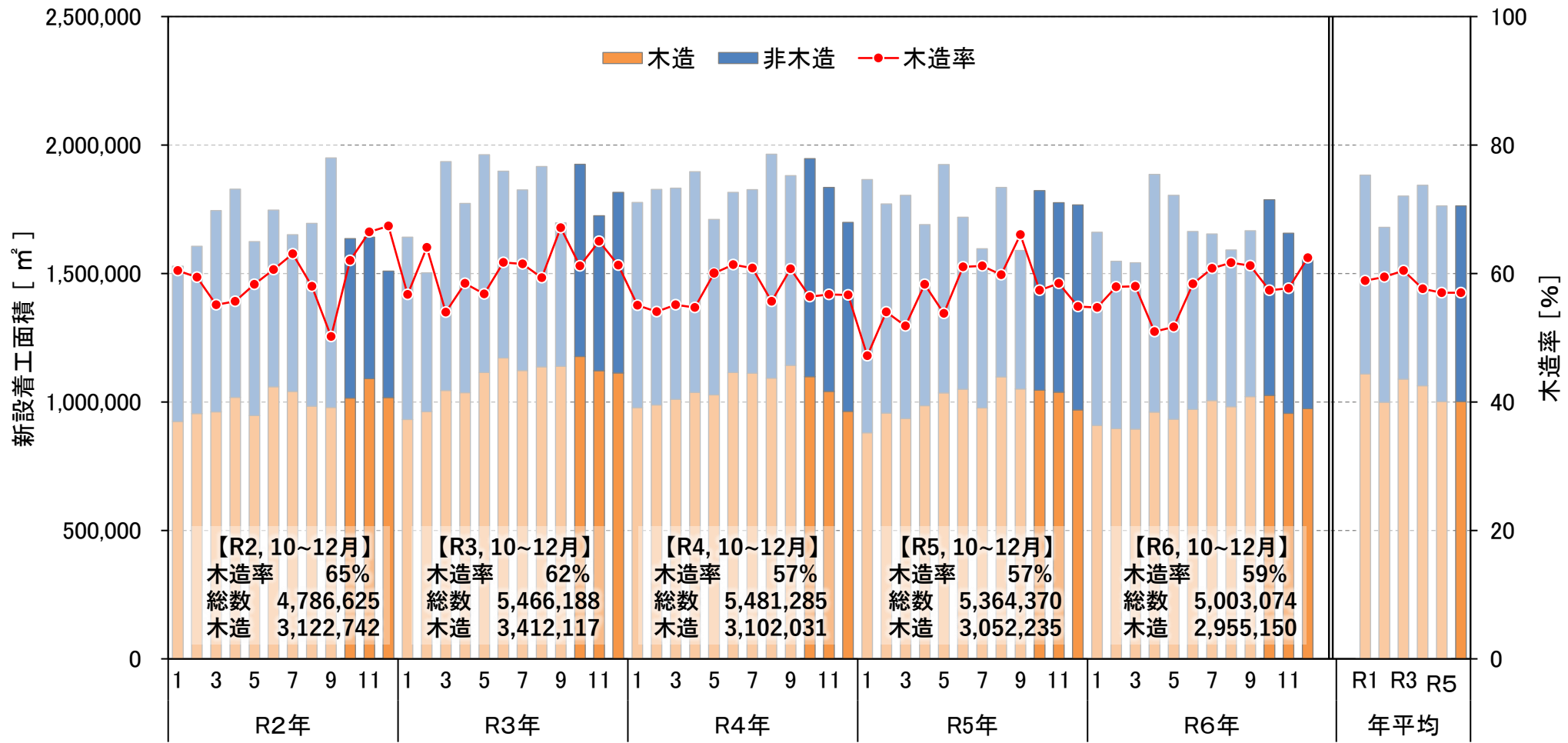
○ 東北5県の令和6年10～12月期の新設住宅着工面積は、去年同期より54,712m²（8.5%）増加した。
この期間の木造は去年同期より42,259m²増加し、木造率は1%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設住宅着工面積の推移 (令和2年1月～令和6年12月)

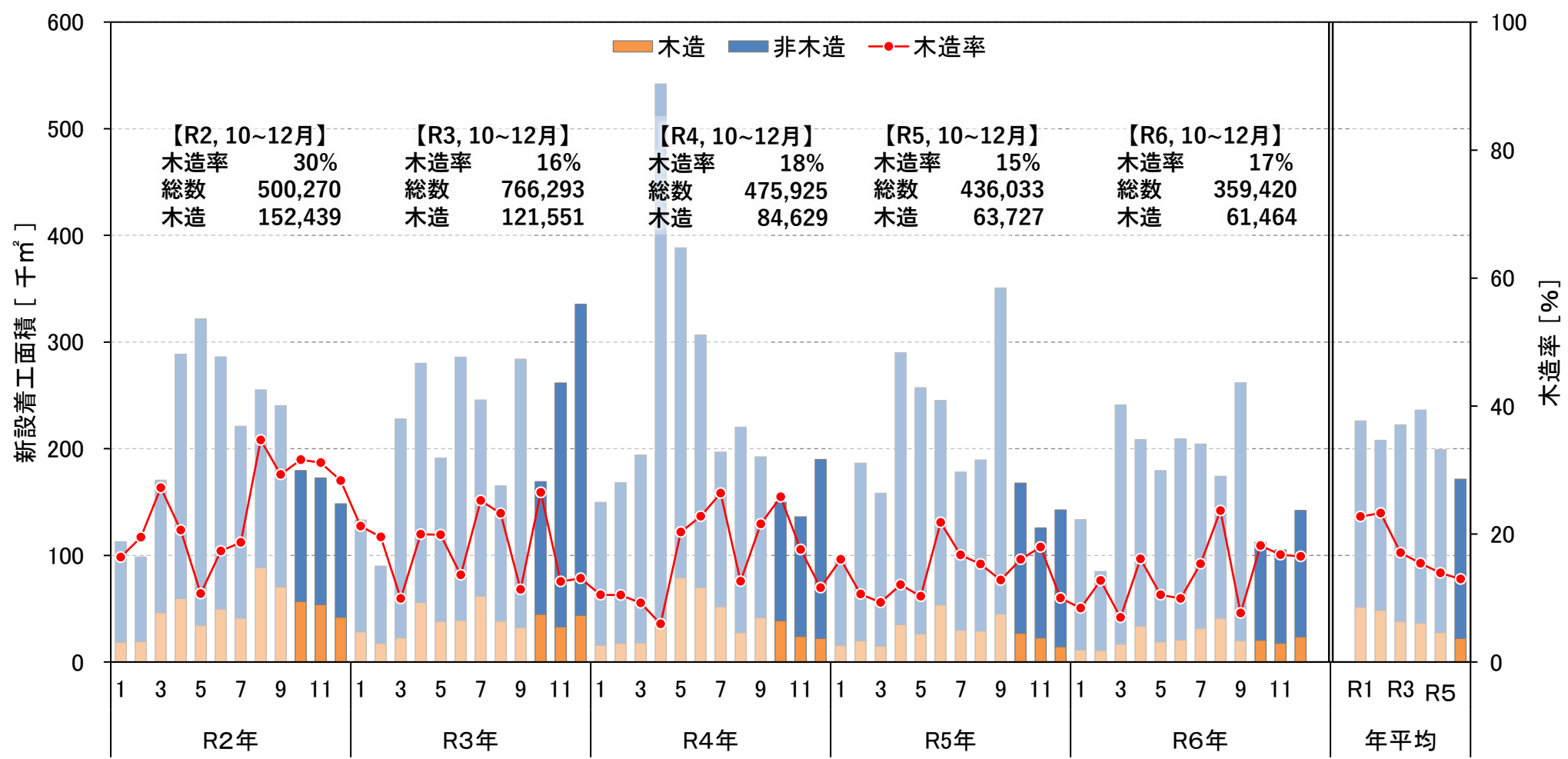
○ 関東主要都市の令和6年10～12月期の新設住宅着工面積は、昨年同期より361,296m²(6.7%)減少した。
この期間の木造は97,085m²減少し、木造率は2%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 東北森林管理局管内5県の新設産業用建築物着工面積の推移（令和2年1月～令和6年12月）

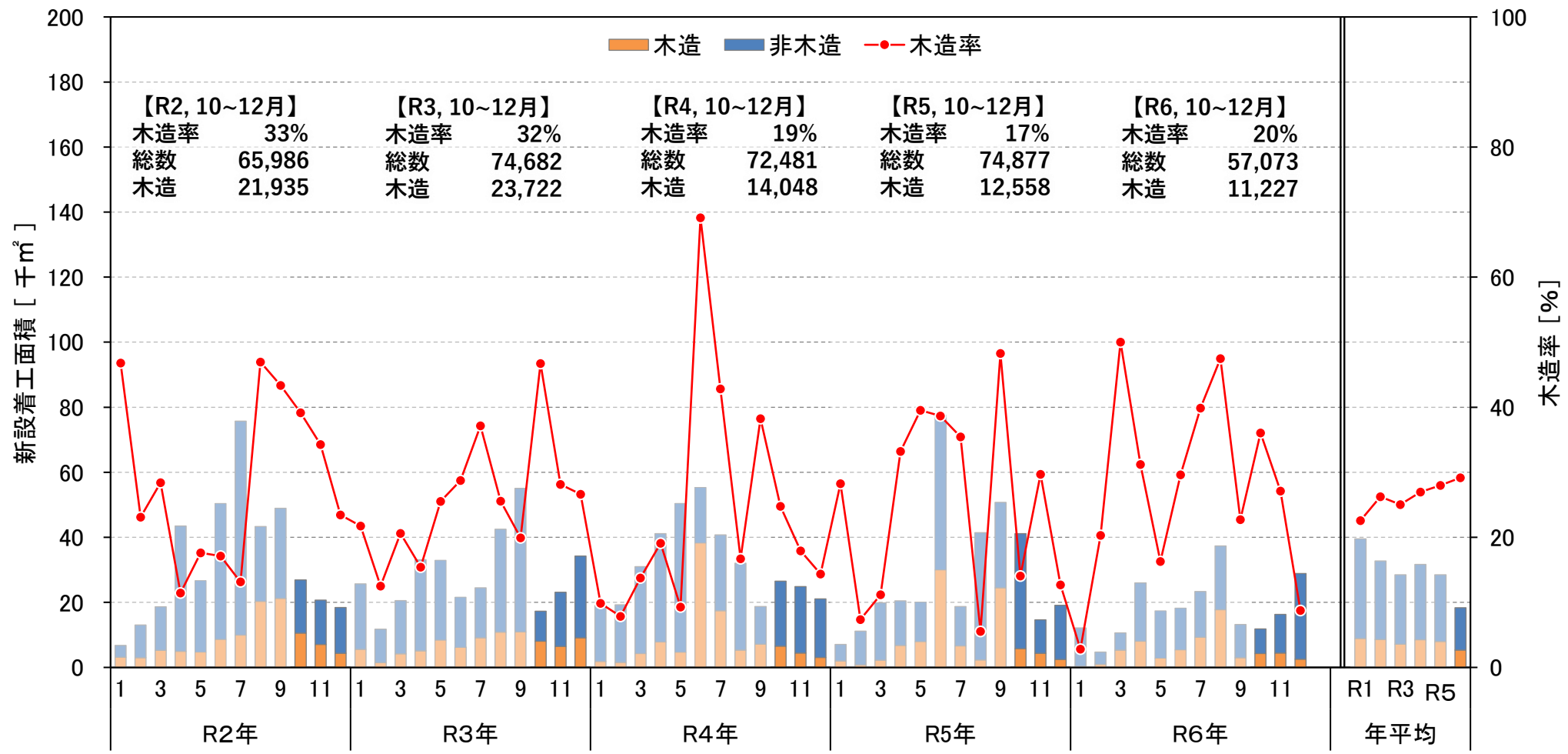
○ 東北5県の令和6年10～12月期の新設産業用建築物着工面積は、去年同期より76,613㎡減少した。
この期間の木造は去年同期より2,263㎡減少し、木造率は2％増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

青森県の新設産業用建築物着工面積の推移（令和2年1月～令和6年12月）

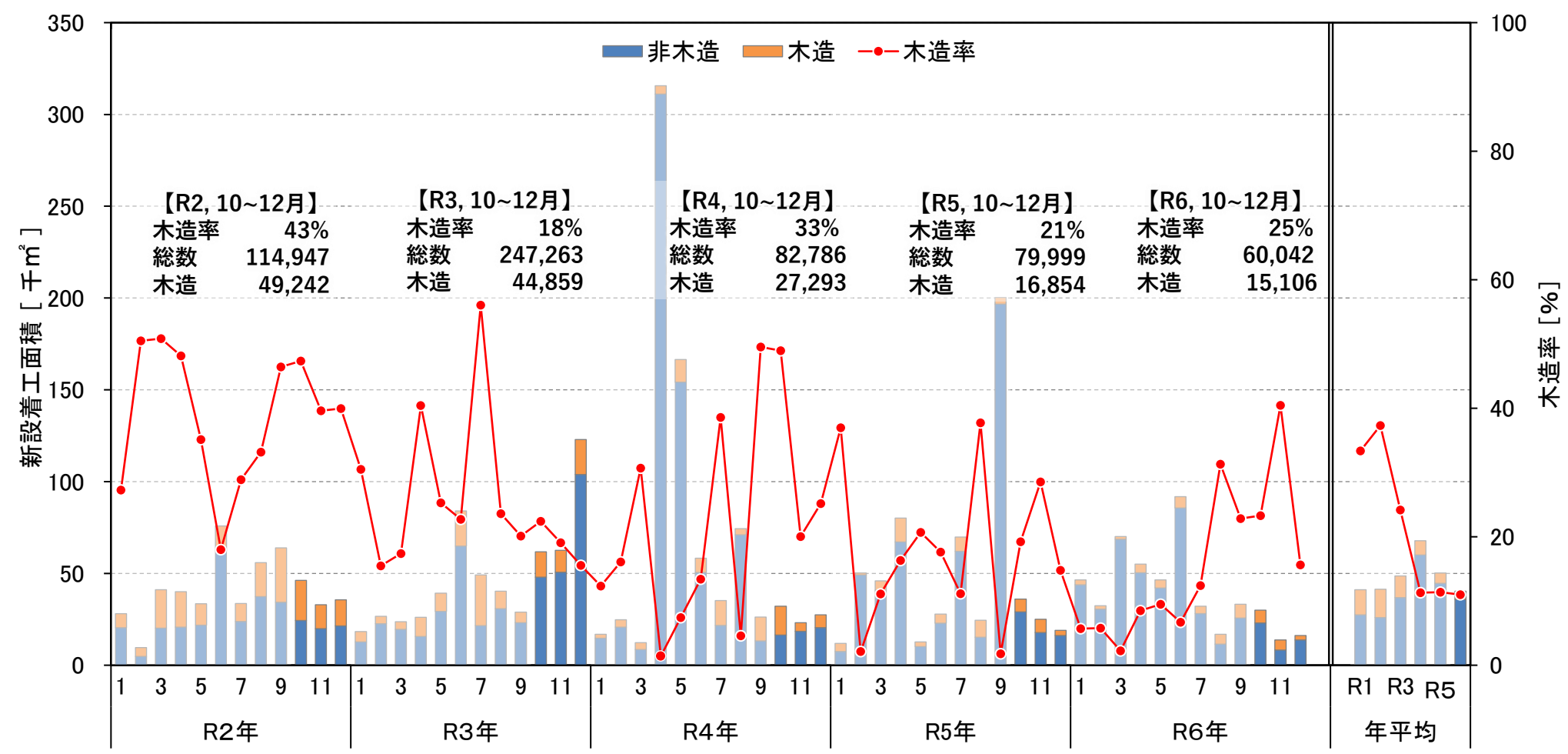
○ 青森県の令和6年10～12月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より17,804㎡減少した。
この期間の木造は1,331㎡減少し、木造率は3%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 岩手県の新設産業用建築物着工面積の推移（令和2年1月～令和6年12月）

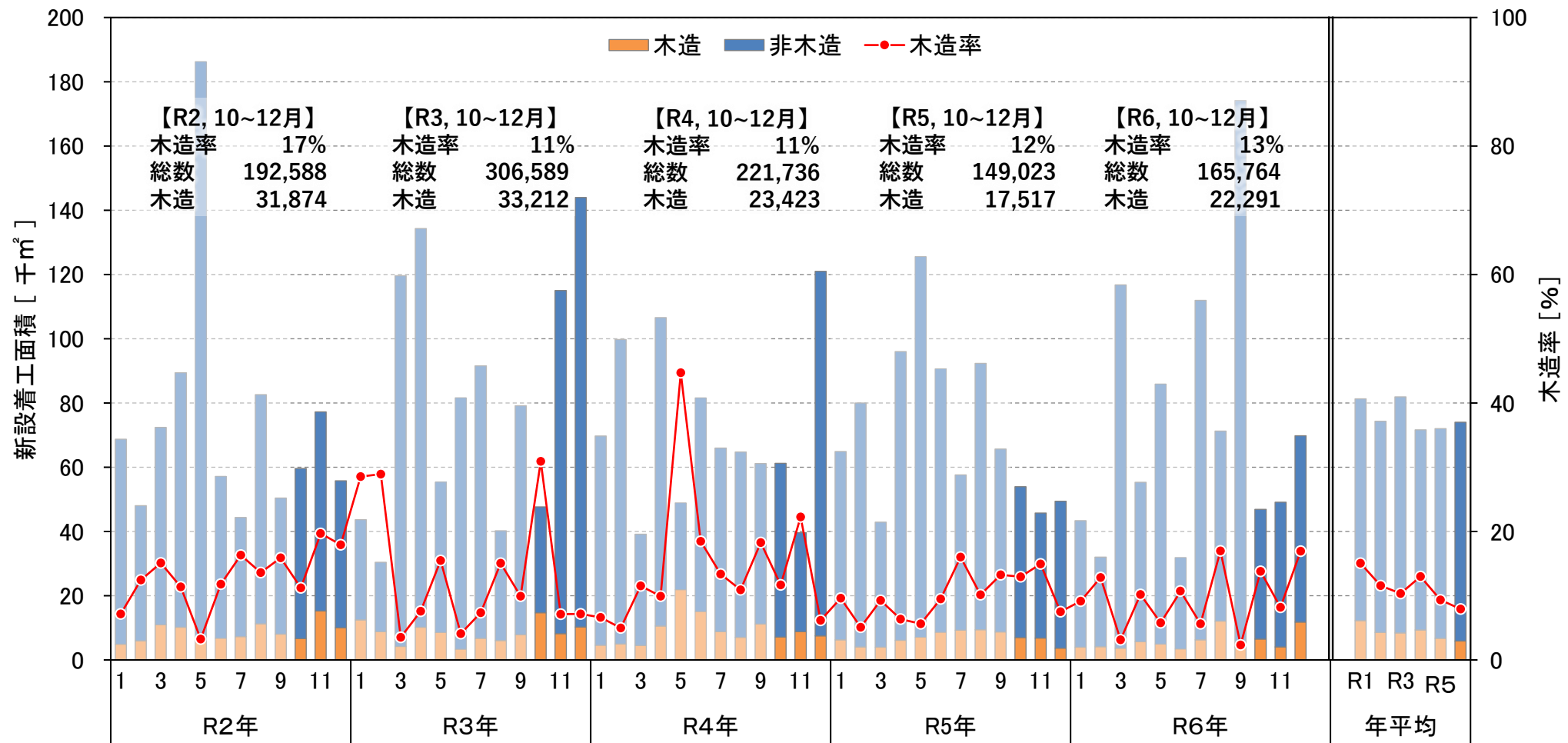
○ 岩手県の令和6年10～12月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より19,957㎡減少した。
この期間の木造は1,748㎡減少し、木造率は4%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 宮城県の新設産業用建築物着工面積の推移（令和2年1月～令和6年12月）

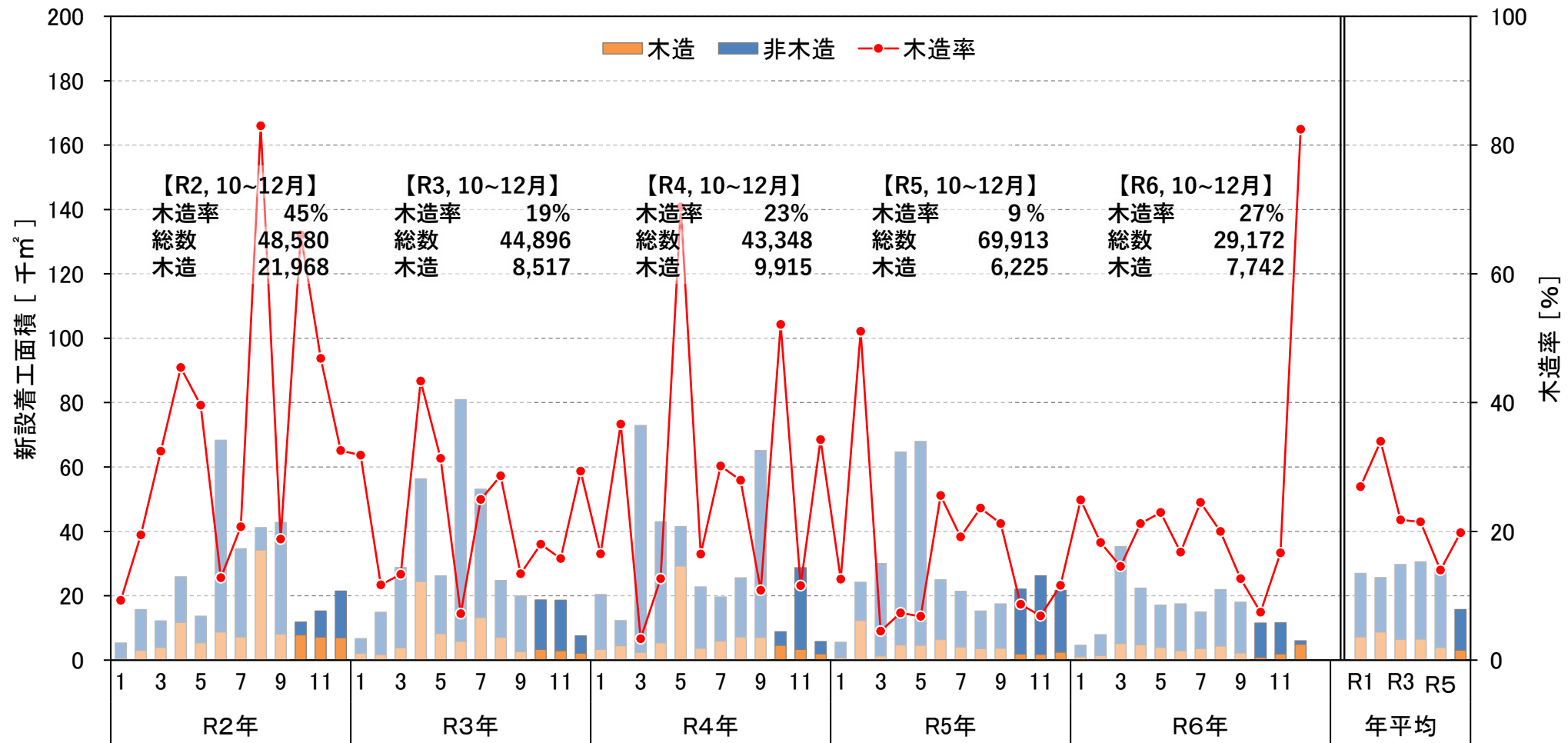
○ 宮城県の令和6年10～12月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より16,741㎡増加した。
この期間の木造は4,774㎡増加し、木造率は1%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

■ 秋田県の新設産業用建築物着工面積の推移（令和2年1月～令和6年12月）

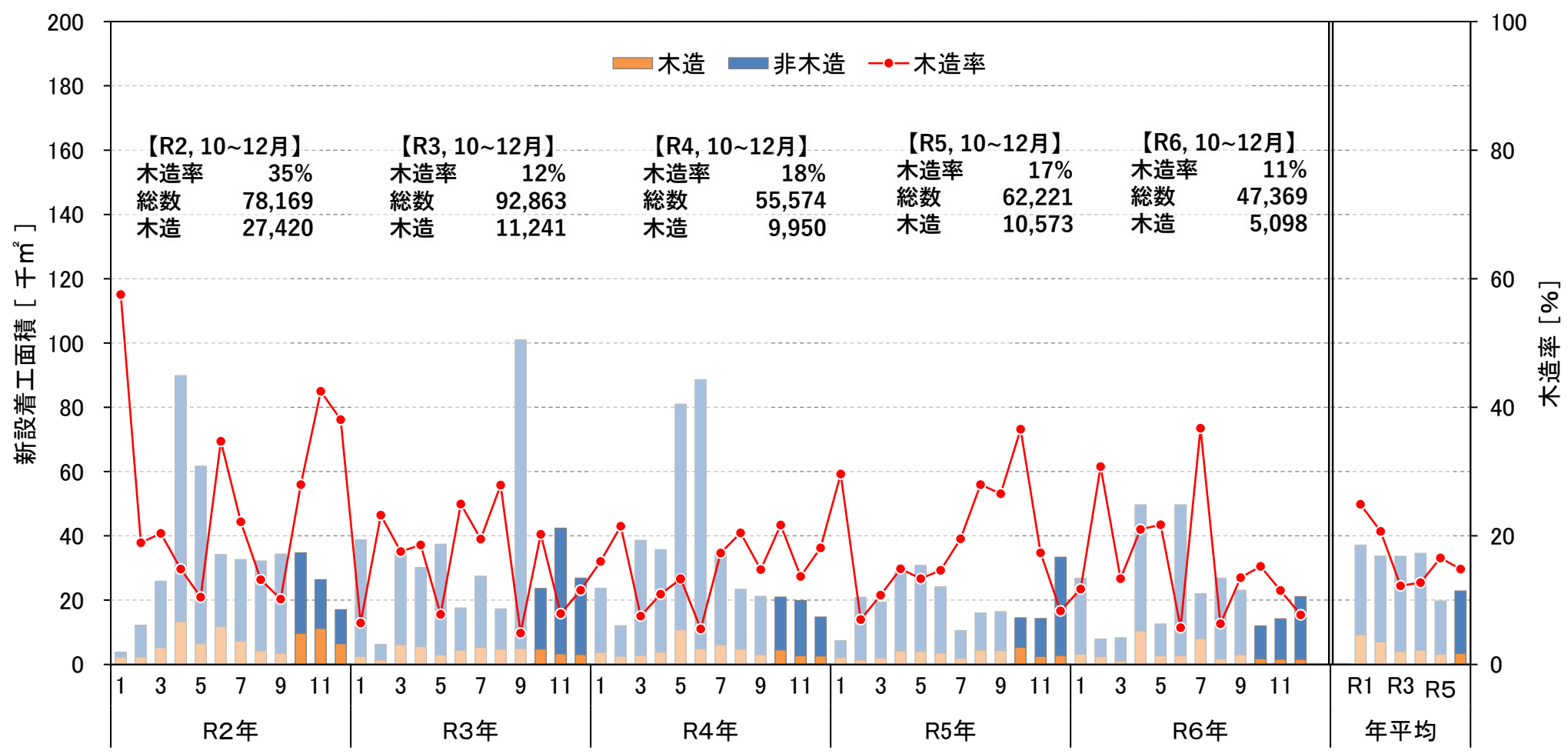
○ 秋田県の令和6年10～12月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より40,741㎡減少した。
この期間の木造は1,517㎡増加し、木造率は18%増加した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

山形県の新設産業用建築物着工面積の推移（令和2年1月～令和6年12月）

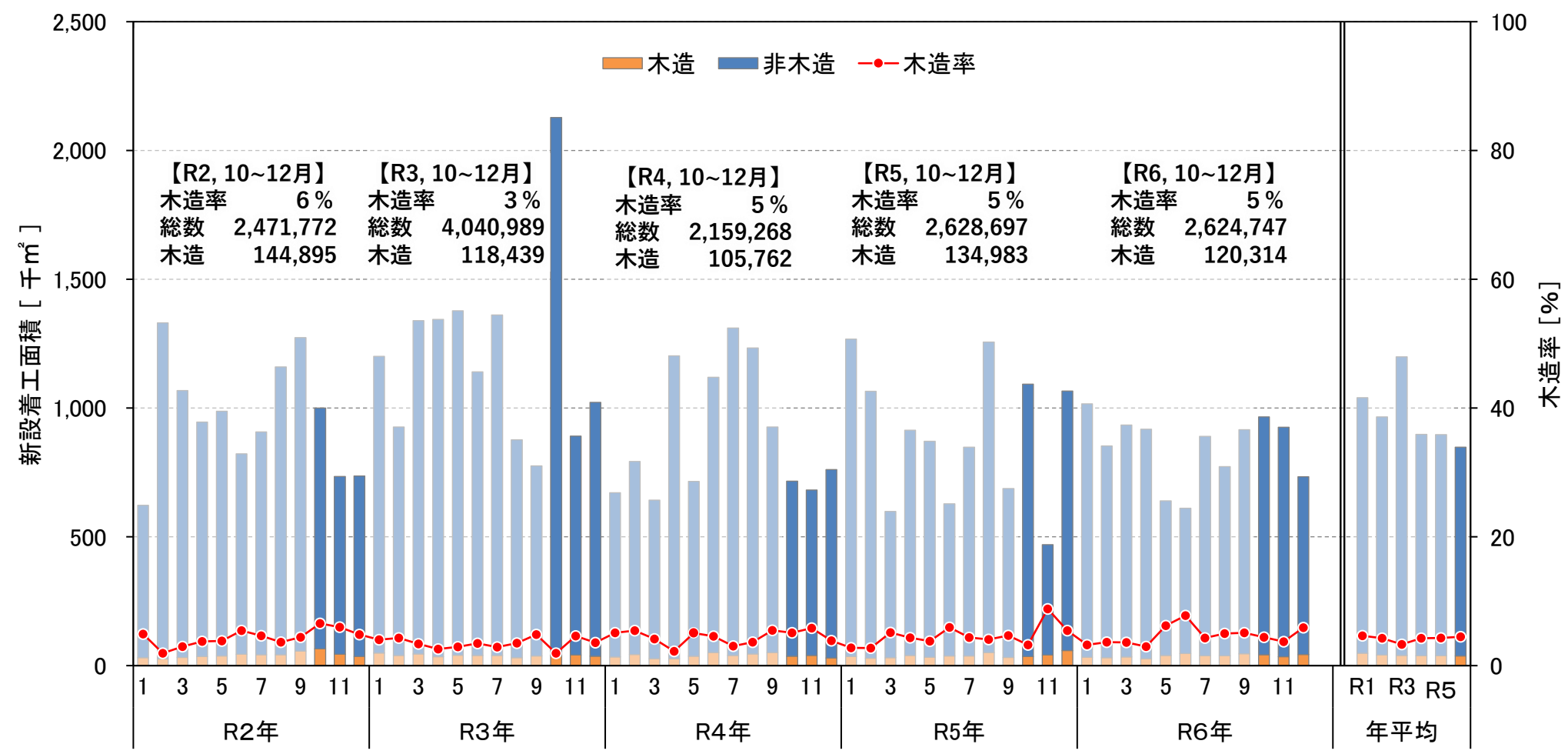
○ 山形県の令和6年10～12月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より14,852mm²減少した。
この期間の木造は5,475m²減少し、木造率は6%減少した。



出典：国土交通省「住宅着工統計」

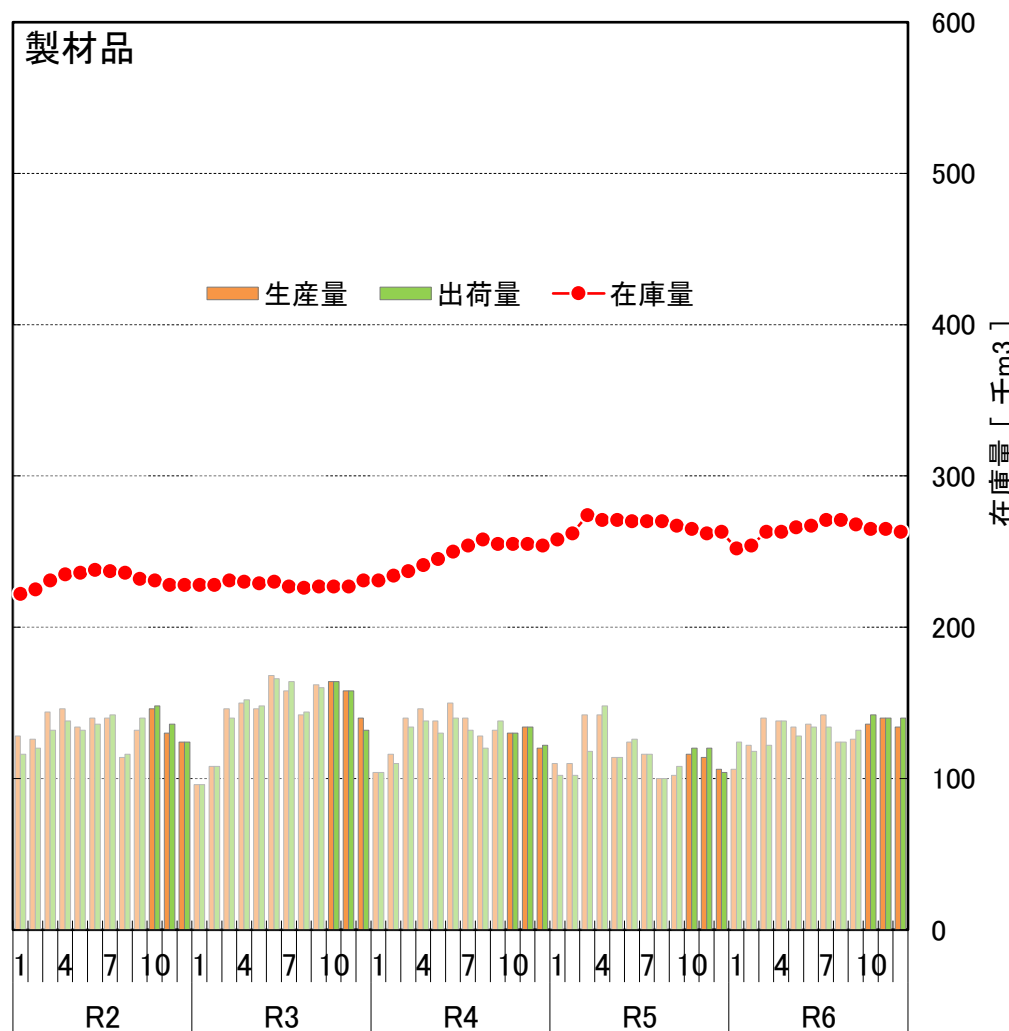
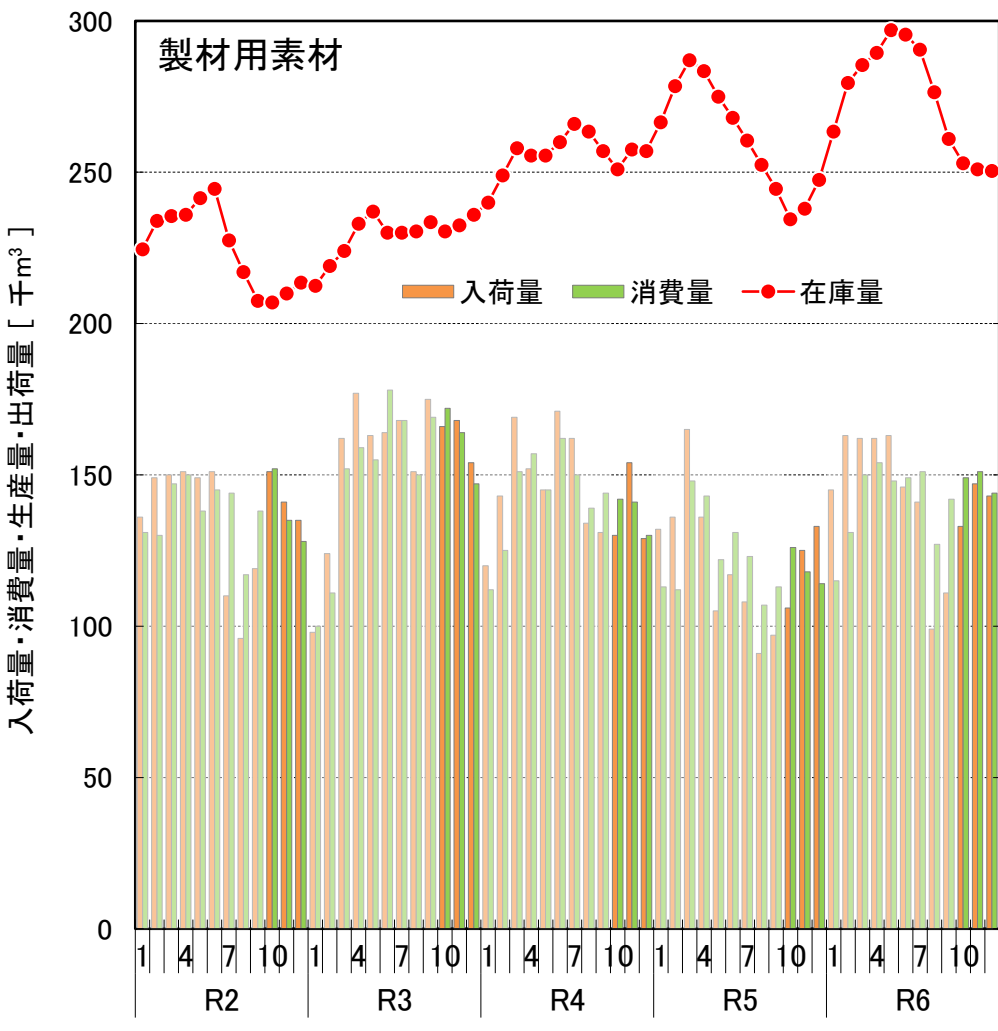
■ 埼玉、千葉、東京、神奈川の新設産業用建築物着工面積の推移（令和2年1月～令和6年12月）

○ 関東主要都市の令和6年10～12月期の新設産業用建築物着工面積は、昨年同期より3,950㎡減少した。
この期間の木造は14,669㎡減少し、木造率は±0%だった。



■ 東北5県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和6年12月）

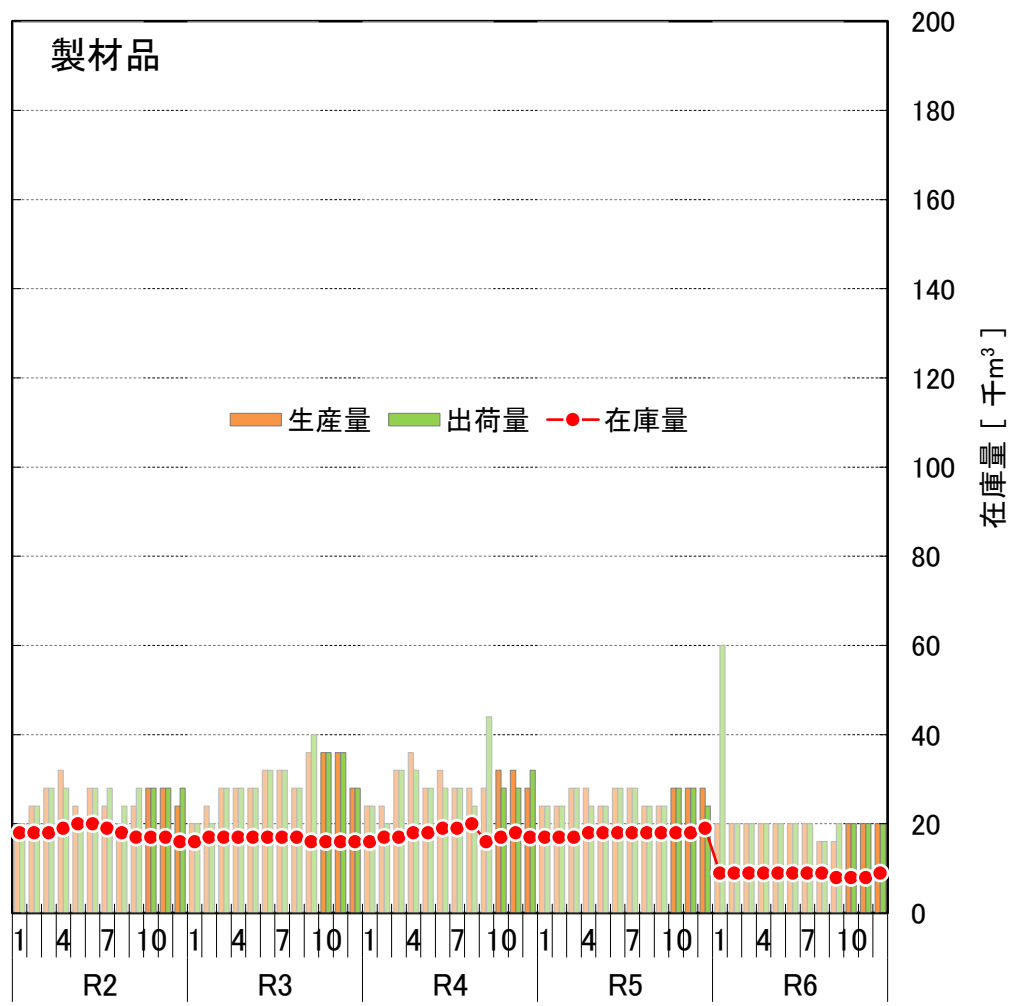
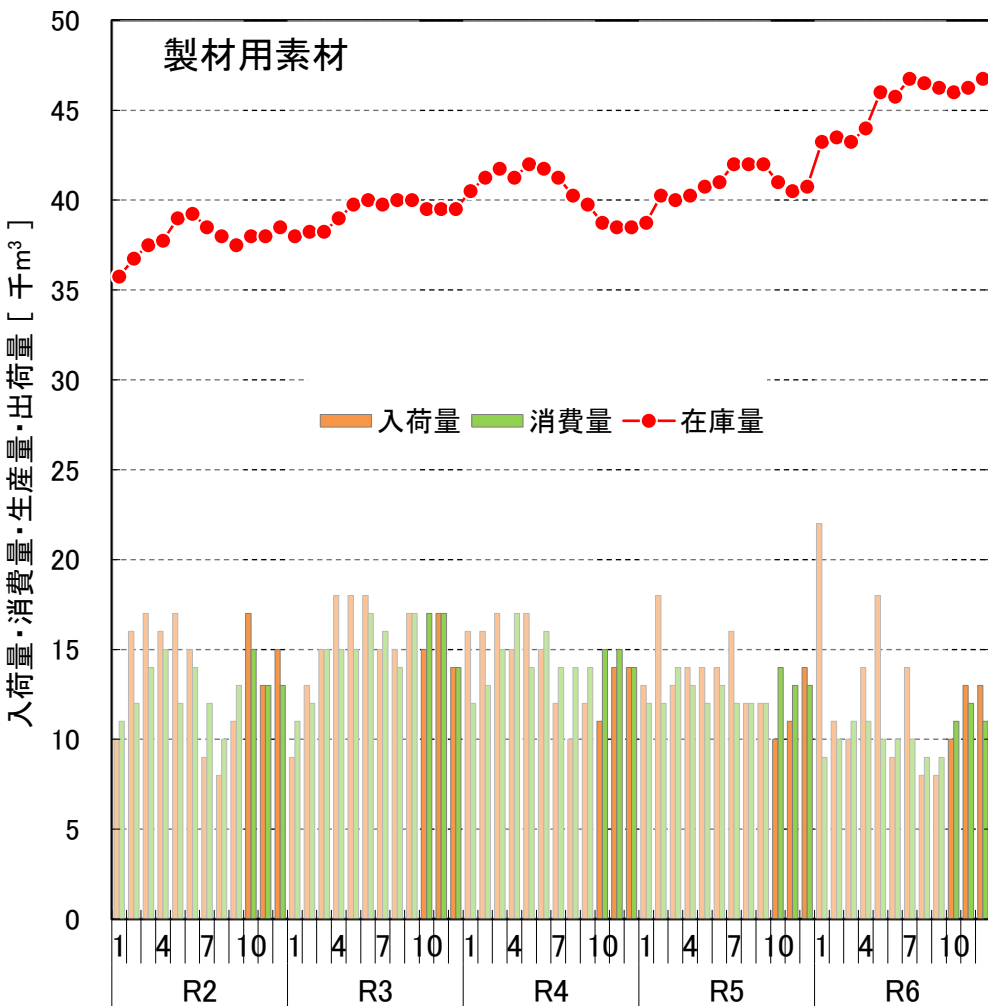
○ 東北5県の製材用素材の令和6年10～12月の入荷量は去年同期比＋16%、消費量は＋24%、在庫量は12月比＋1%。
○ 製材品の令和6年10～12月の生産量は去年同期比＋22%、出荷量は＋23%、在庫量は12月比±0%。



■ 青森県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和6年12月）

○ 製材用素材の令和6年10～12月の入荷量は昨年同期比+3%、消費量は-15%、在庫量は12月比+15%。

○ 製材品の令和6年10～12月の生産量は昨年同期比－29%、出荷量は－25%、在庫量は12月比－53%。

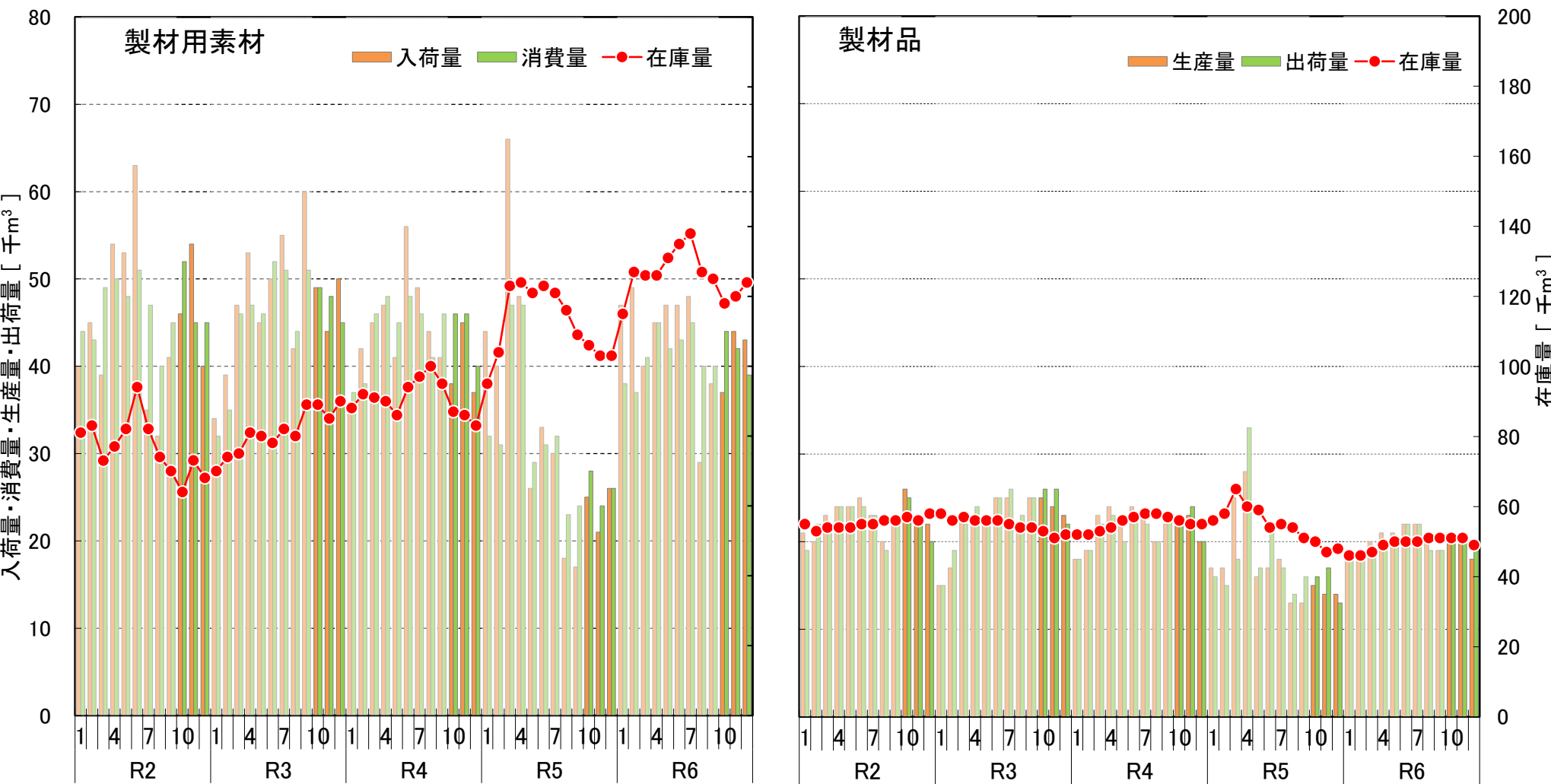


出典：農林水産省「木材需給報告書」「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値である。

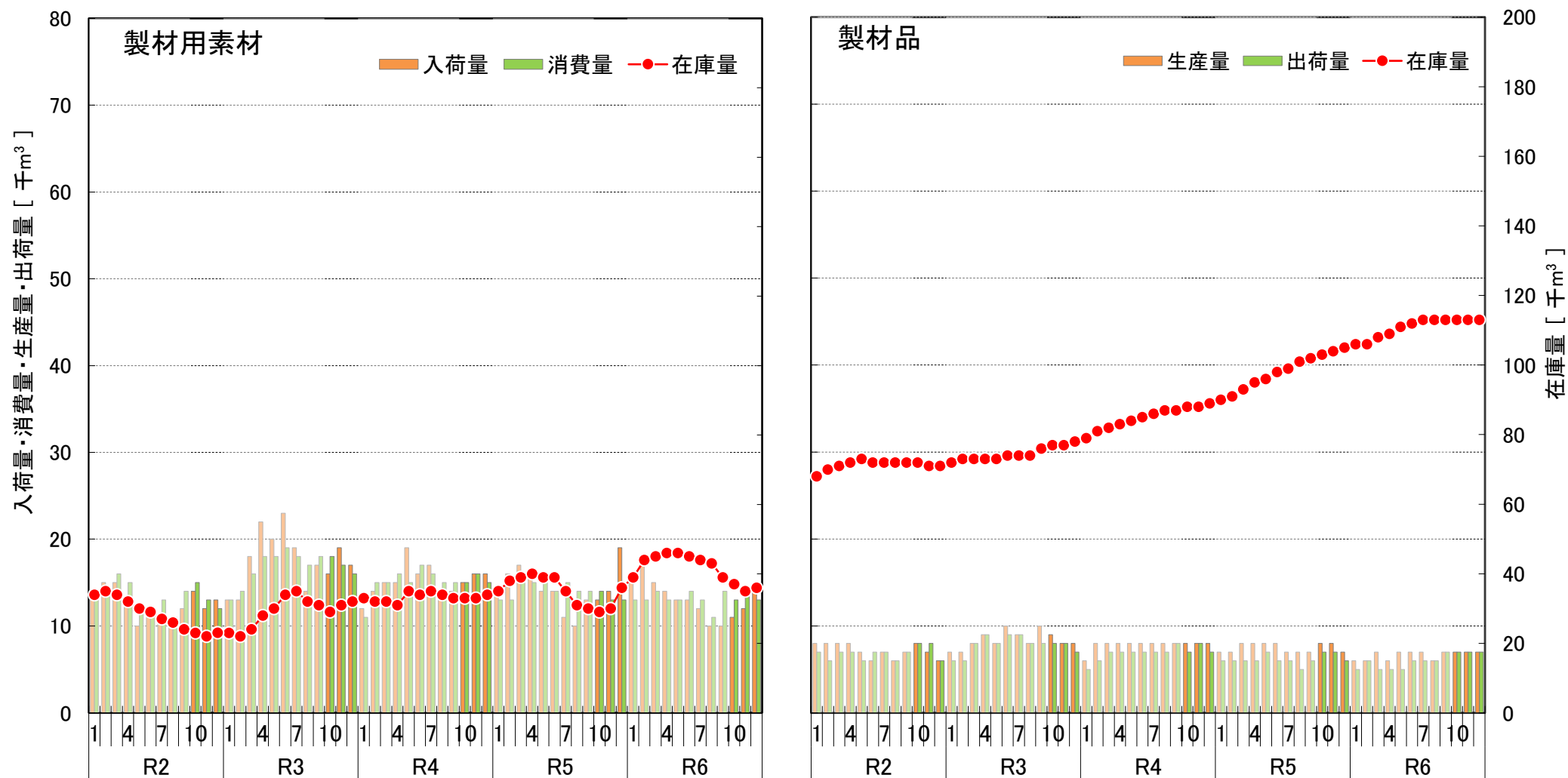
■ 岩手県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和6年12月）

○ 製材用素材の令和6年10～12月の入荷量は去年同期比＋72%、消費量は＋60%、在庫量は12月比＋20%。
○ 製材品の令和6年10～12月の生産量は去年同期比＋37%、出荷量は＋33%、在庫量は12月比＋2%。



■ 宮城県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和6年12月）

- 製材用素材の令和6年10～12月の入荷量は昨年同期比－20%、消費量は±0%、在庫量は12月比±0%。
- 製材品の令和6年10～12月の入荷量は昨年同期比－9%、消費量は＋5%、在庫量は12月比＋8%。

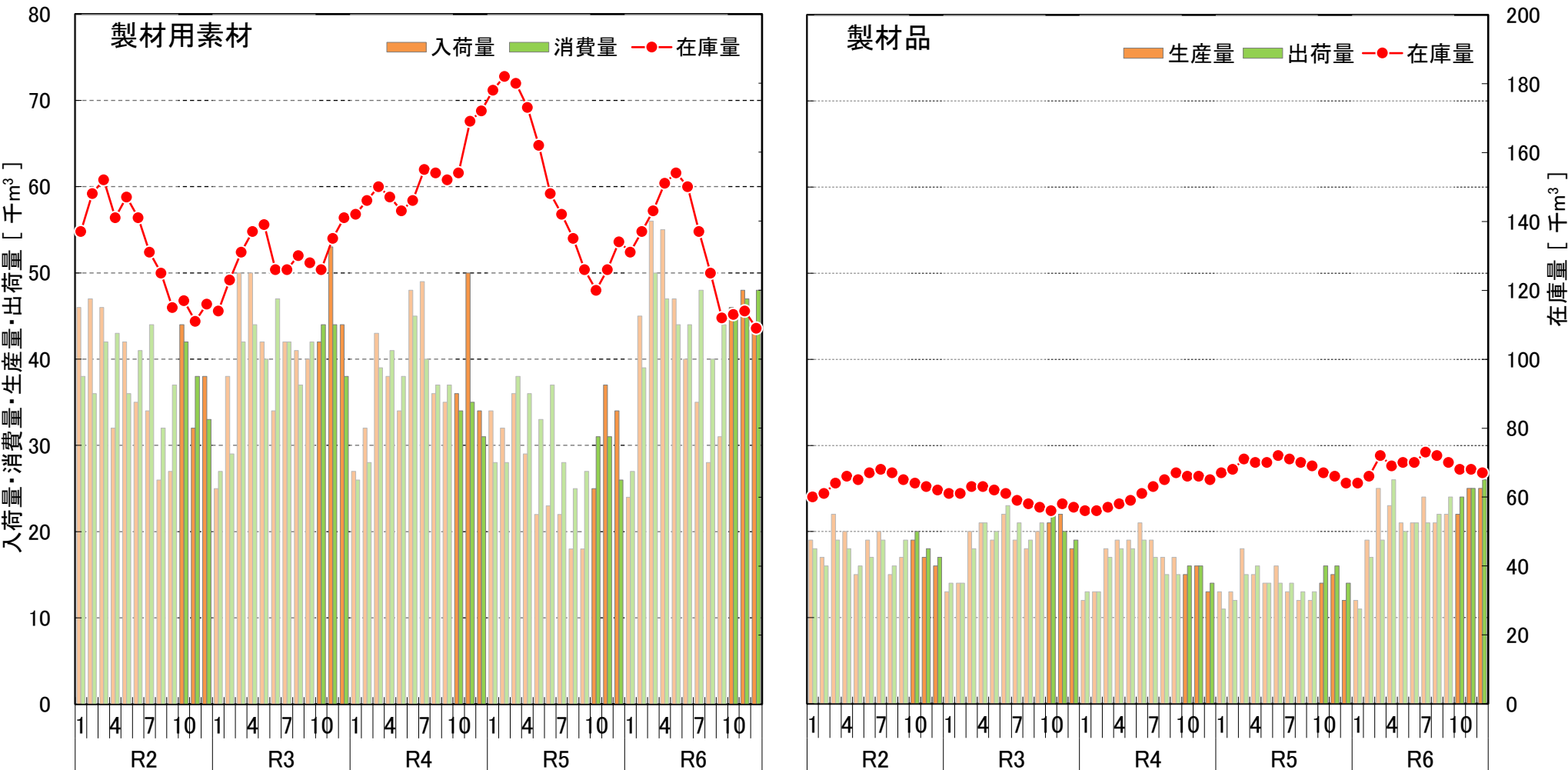


出典：農林水産省「木材需給報告書」「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値である。

■ 秋田県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和6年12月）

- 製材用素材の令和6年10～12月の入荷量は去年同期比＋43%、消費量は＋59%、在庫量は12月比－19%。
- 製材品の令和6年10～12月の入荷量は去年同期比＋76%、消費量は＋63%、在庫量は12月比＋5%。

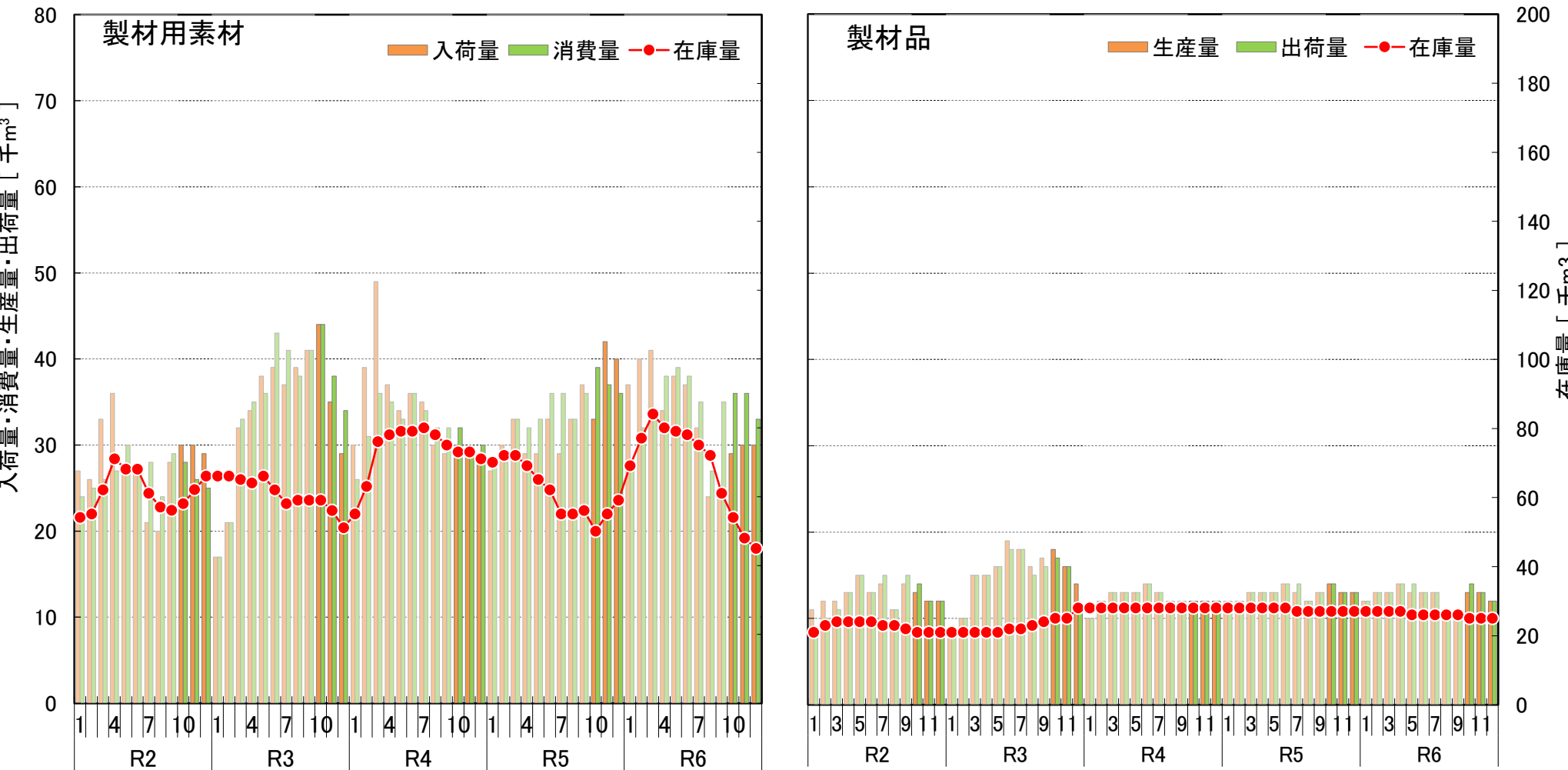


出典：農林水産省「木材需給報告書」「製材統計」

※ 国産材と外材の合計値である。

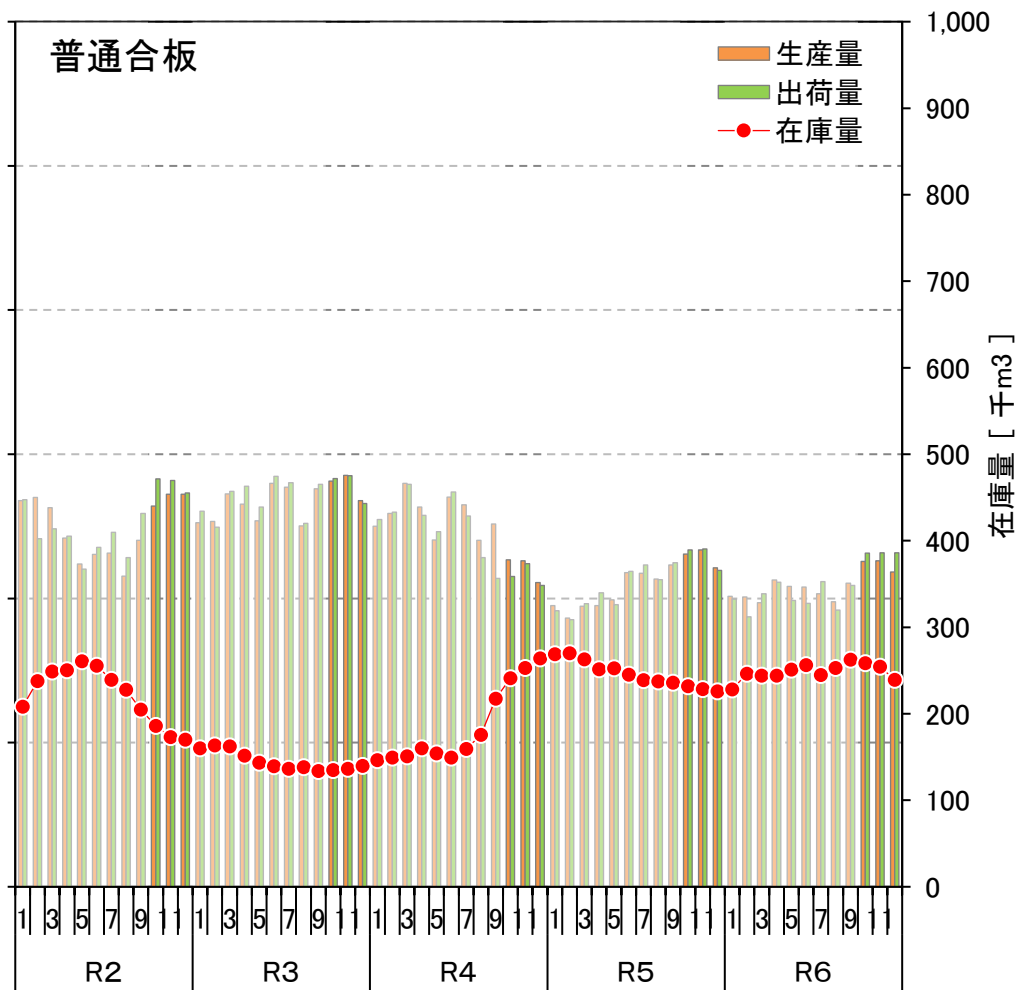
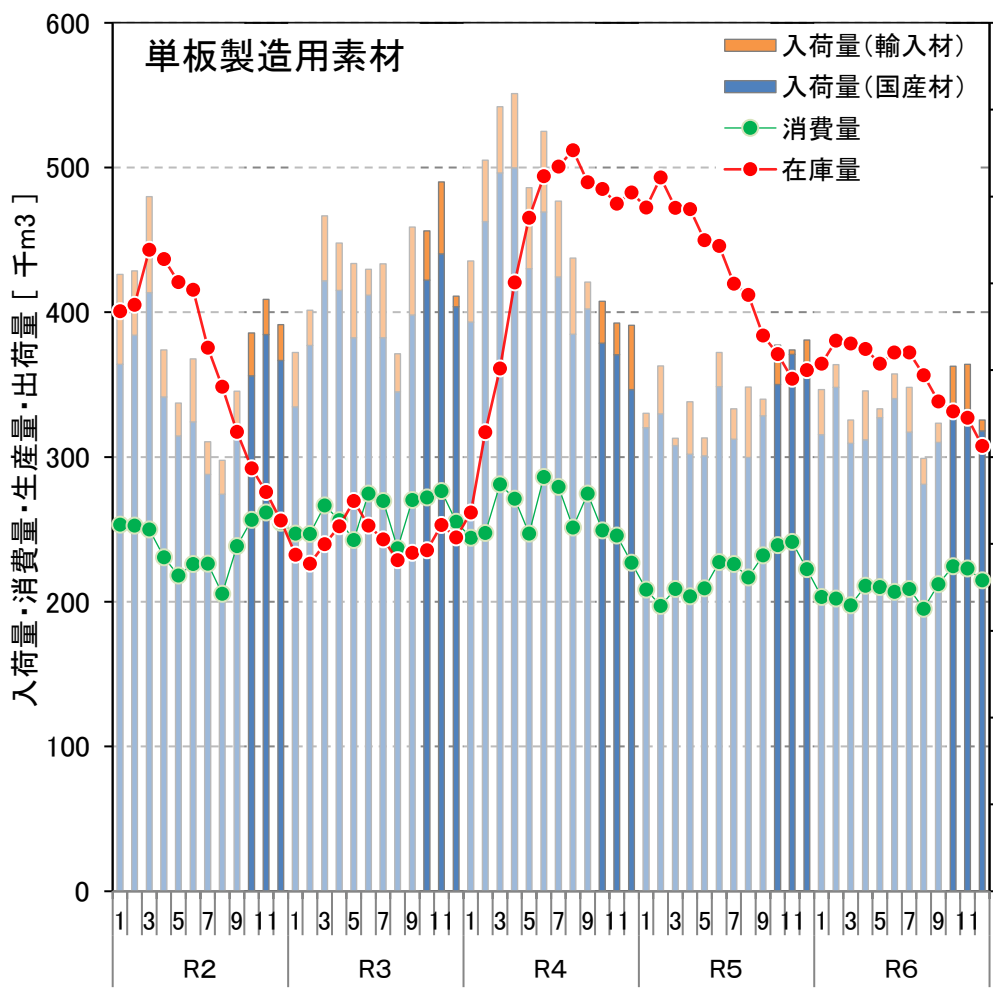
山形県の製材用素材・製材品の生産量等の推移（令和2年1月～令和6年12月）

○ 製材用素材の令和6年10～12月の入荷量は昨年同期比－23%、消費量は－6%、在庫量は12月比－24%。
○ 製材品の令和6年10～12月の入荷量は昨年同期比－5%、消費量は－2%、在庫量は12月比－7%。



■ 全国の単板製造用素材・普通合板の生産量等の推移（令和2年1月～令和6年12月）

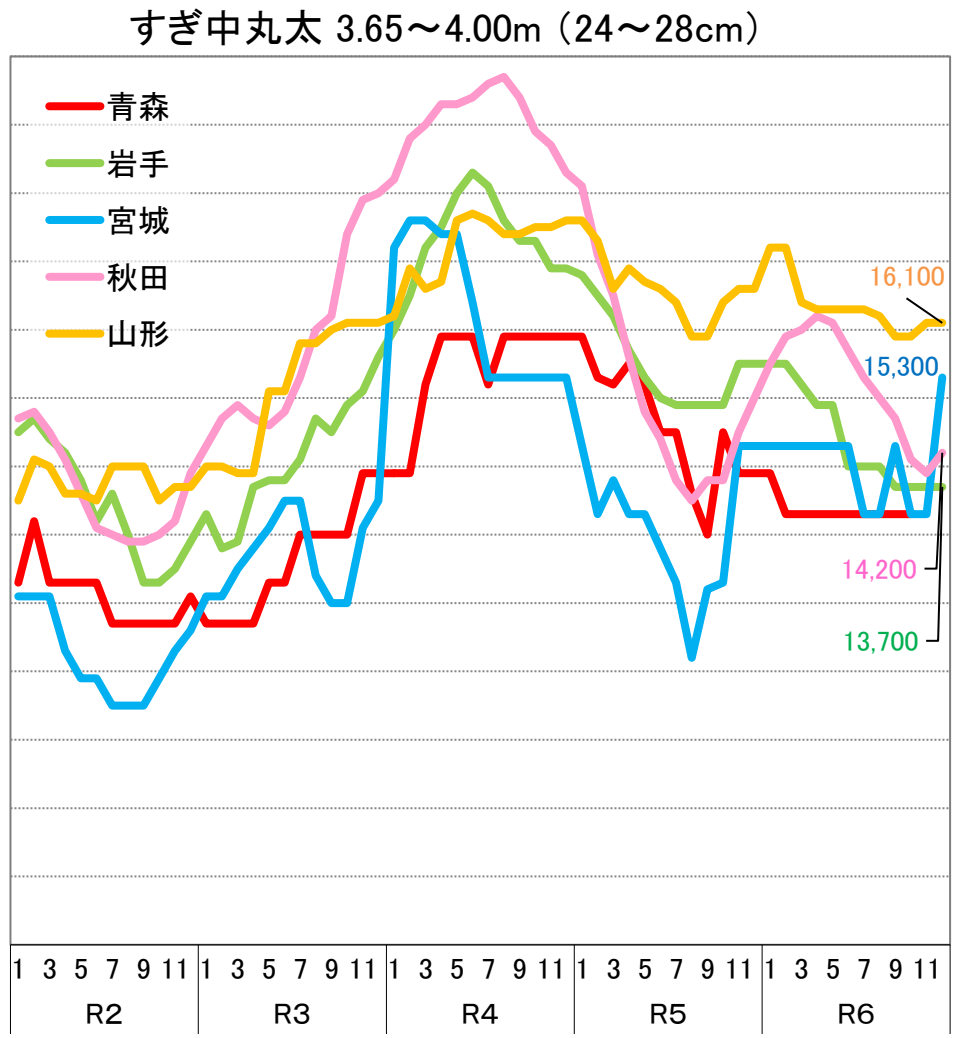
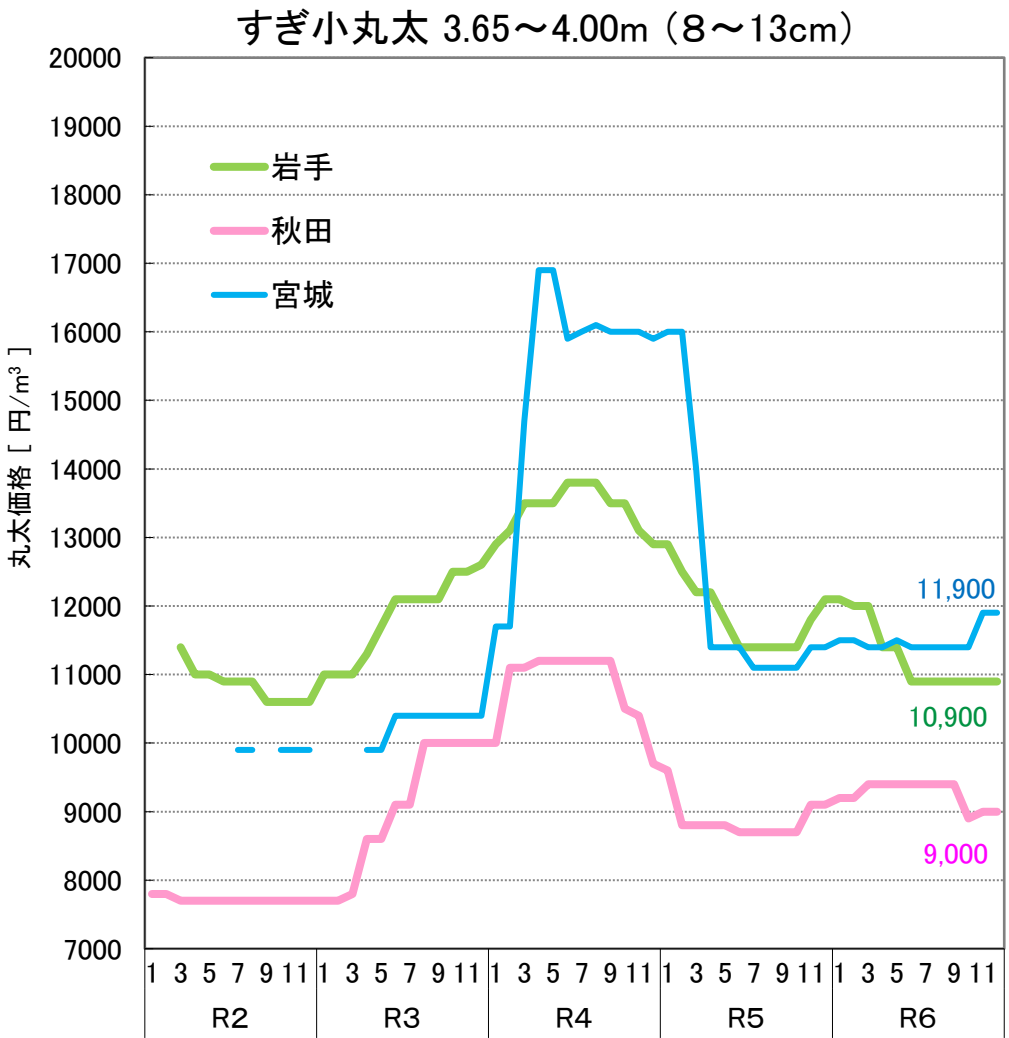
- 単板製造用素材の令和6年10～12月期の入荷量は去年同期比－7%、うち国産材は－9%、消費量は－6%、在庫量は12月比－15%。
- 普通合板の令和6年10～12月期の生産量は去年同期比－2%、出荷量は＋1%、在庫量は12月比＋6%。



出典：農林水産省「合板統計」

■ すぎ丸太価格の推移（令和2年1月～令和6年12月）

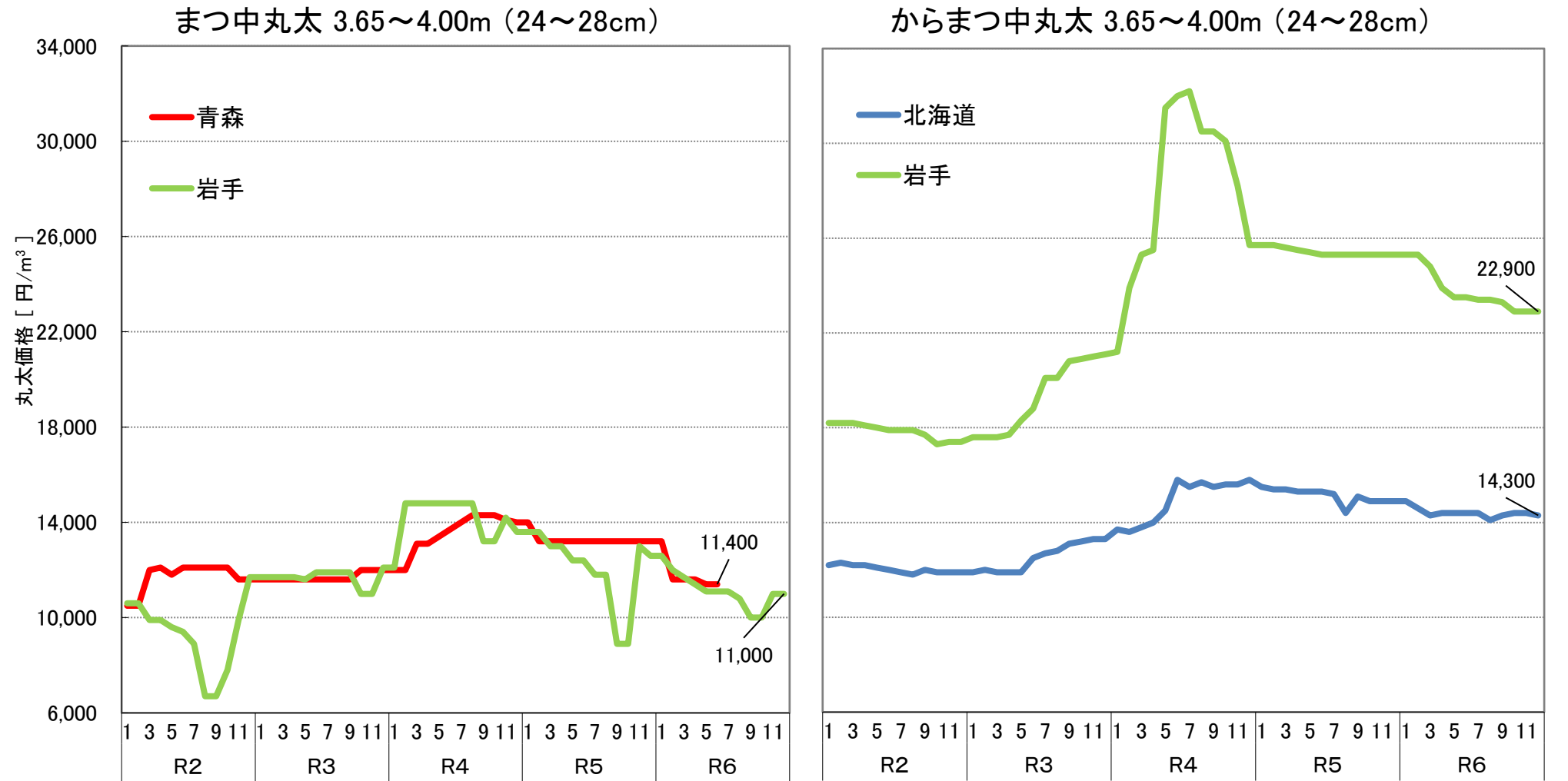
○ すぎ小丸太価格は、宮城で11月以降強保合。岩手では6月以降、秋田では10月の下落以降横ばい。
○ すぎ中丸太価格は、全体的に下落～弱保合の傾向だったが、宮城では12月に価格が急騰。



出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

■ まつ・からまつ丸太価格の推移（令和2年1月～令和6年12月）

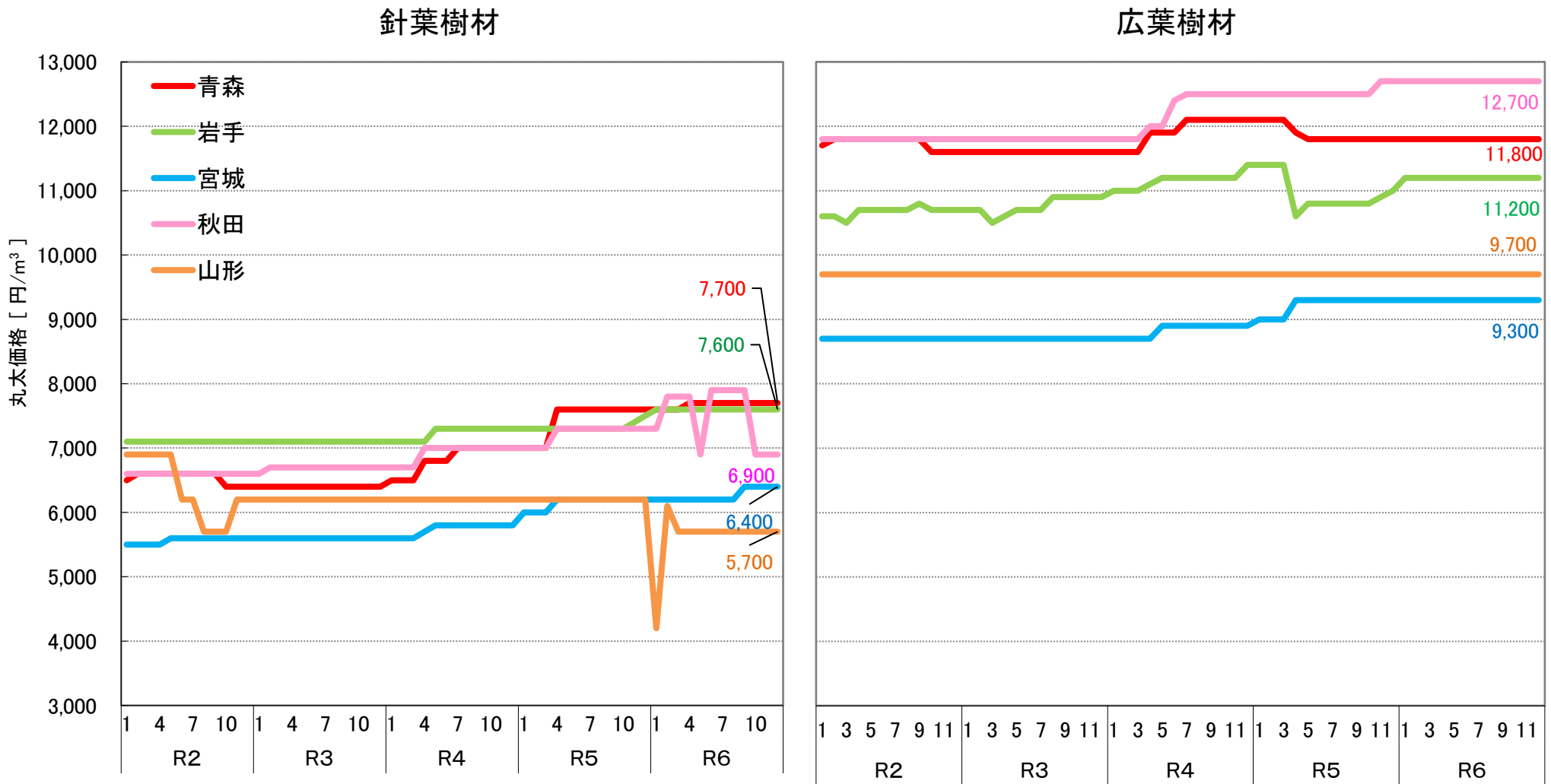
- まつ中丸太価格は、岩手では7月以降下落したが反発。青森は7月以降データなし。
- からまつ中丸太価格は、3月以降北海道では横ばい。岩手では弱保合。価格差は8,600円。



出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

■チップ用丸太価格の推移（令和2年1月～令和6年12月）

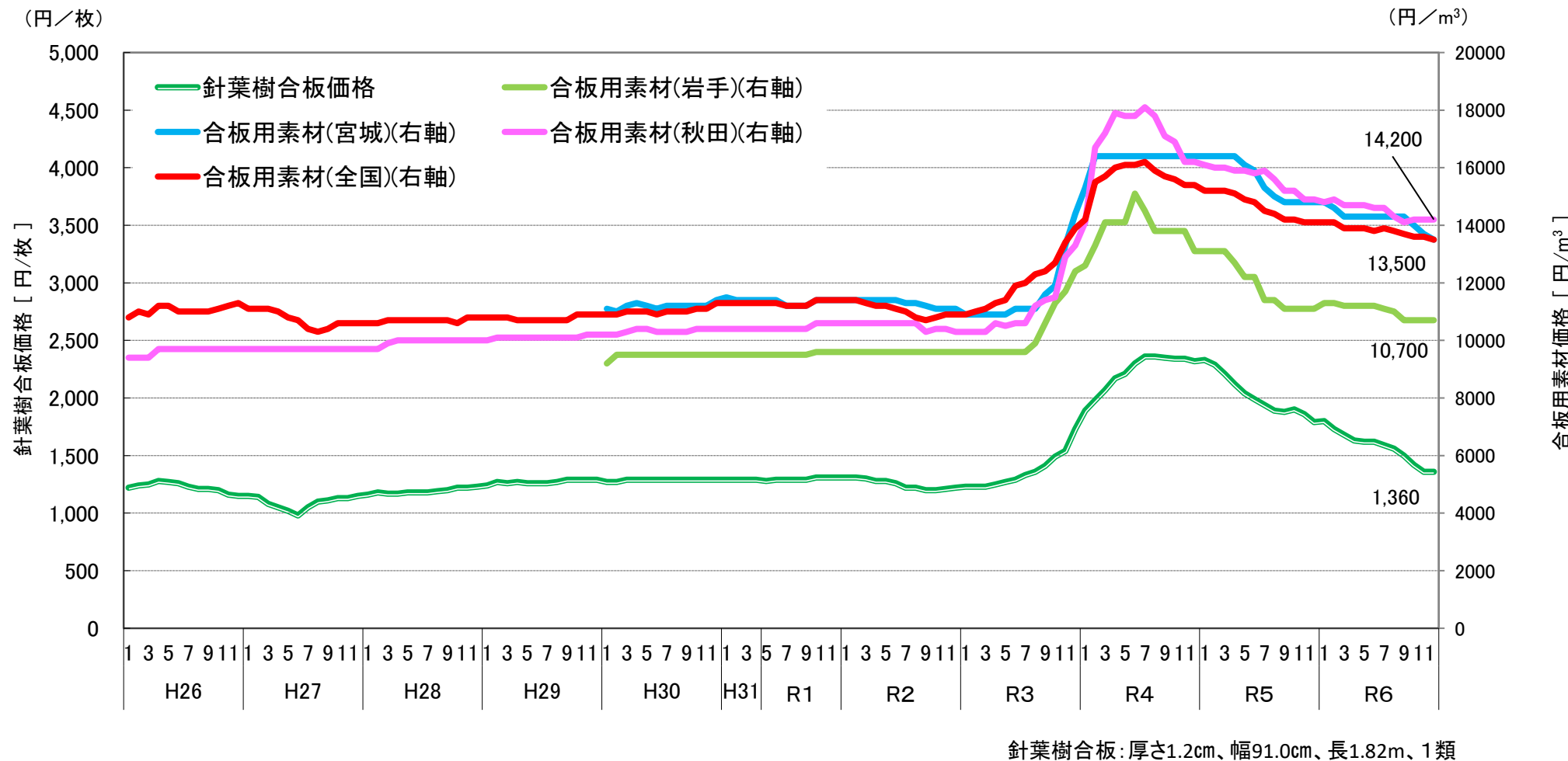
- チップ用針葉樹材は、秋田では10月にR4と同水準まで下落。
宮城では9月に値上がりした価格を維持している。他3県は保合の傾向。
- 広葉樹材は、全県で強保合から横ばい。



出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

■ 針葉樹合板及び合板用素材価格の推移（平成26年1月～令和6年12月）

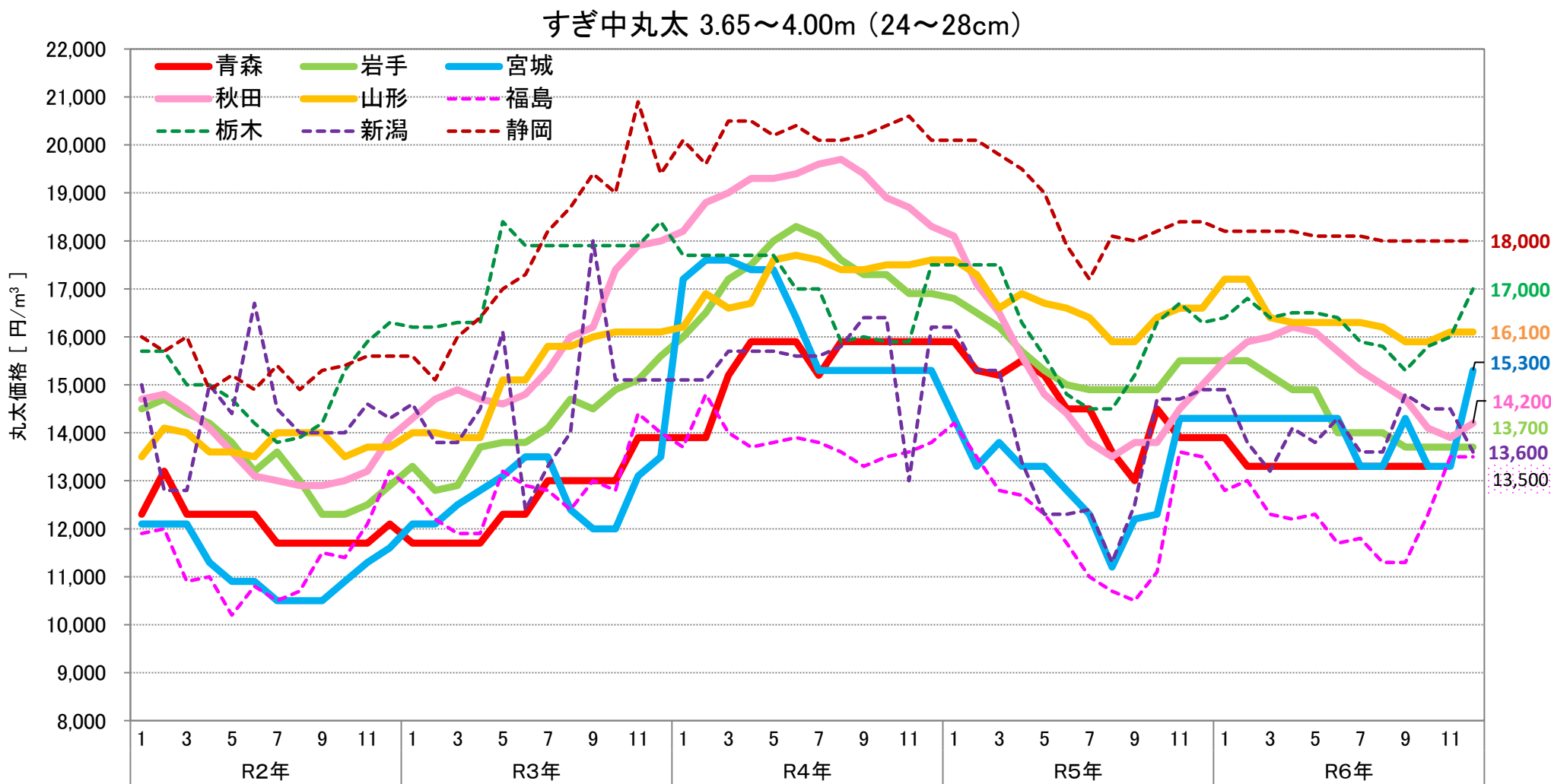
- 針葉樹合板価格は、1,360円/枚。
- 合板用素材価格は、年間を通じて弱含みの傾向にある。



出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」
※ 平成30年1月に調査都道府県、調査対象工場の見直しを行ったことから、平成29年12月以前の数値とは接続しない。
※ 針葉樹合板価格は、木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し価格。合板用素材価格は、合単板工場着購入価格である。

■ 関東地方との木材価格の比較（令和2年1月～令和6年12月）

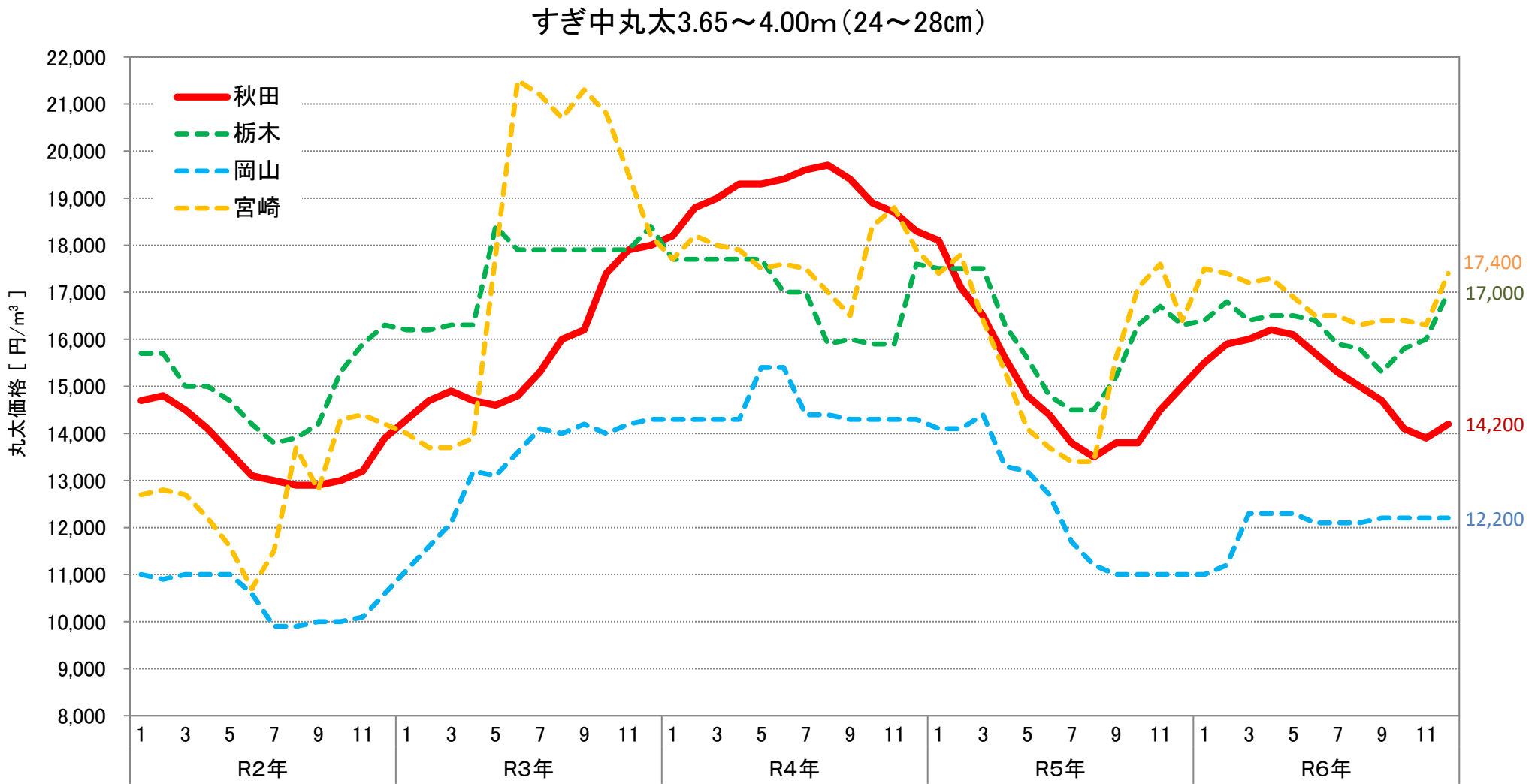
○ すぎ中丸太の価格は、宮城では栃木の値動きに沿って10月以降上昇。秋田・山形もその値動きを追って保合～強含みの傾向。岩手・青森は横ばいとなっている。



出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

■ 関東、関西、九州地方との木材価格の比較（令和2年1月～令和6年12月）

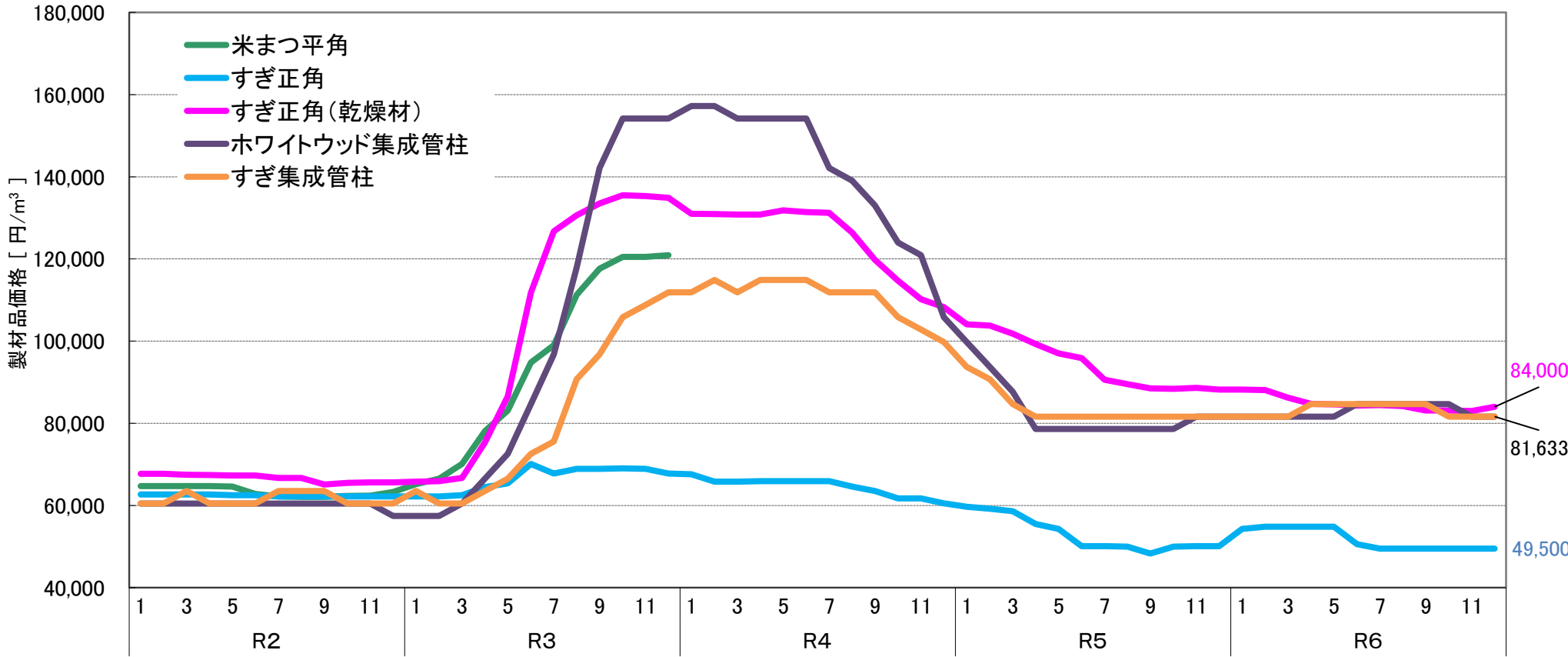
○ 栃木で10月に上昇し、秋田・宮崎では11月以降上昇している。岡山は横ばいの傾向。



出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」 ※ 工場着価格。

全国の製材品主要品目価格の推移（令和2年1月～令和6年12月）

○ Wウッド集成管柱とすぎ集成管柱の価格は年間を通してほぼ同価格・横ばいとなっている。
 スギ正角は7月以降横ばい。乾燥材は弱保合。



出典：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

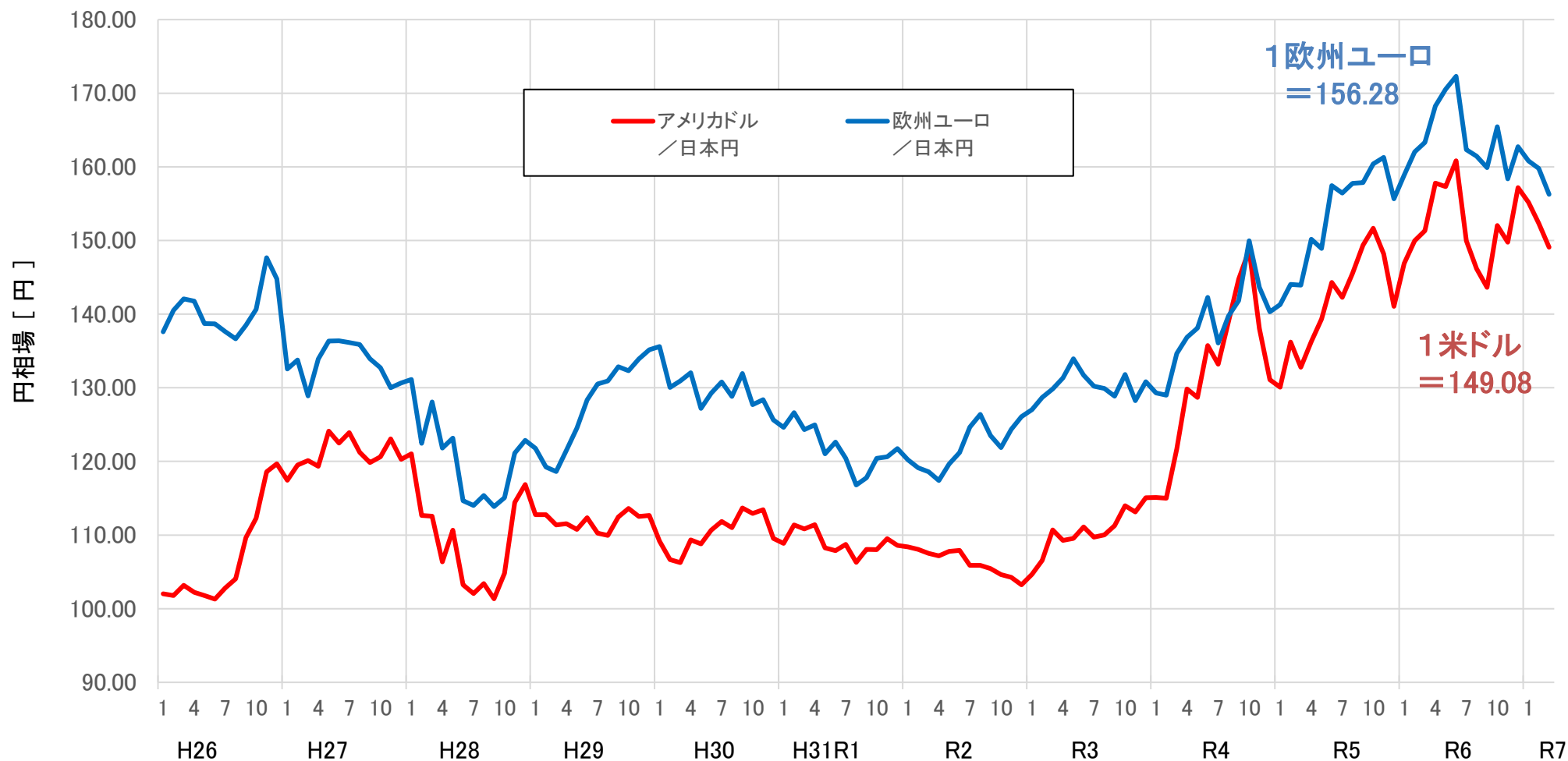
※1 価格は、令和2年1月以降のホワイトウッド集成管柱及びすぎ集成管柱は集成材工場出荷時の販売価格、それ以外は木材市売市場、木材センター及び木材卸売業者における小売業者への店頭渡し価格となる。

※2 令和2年1月から、ホワイトウッド集成管柱は規格及び調査都道府県、調査対象工場の見直しを行い、調査価格も※1の通り変更となったことから、令和元年12月以前の数値とは接続しない。

※3 令和4年1月調査から、米まつ平角の製材品価格の把握は廃止された。

■ 為替レートの推移（平成26年1月～令和6年2月）

- 米ドルは、2月下旬時点で149円台後半。
- 欧州ユーロは、2月下旬時点で156円台前半。

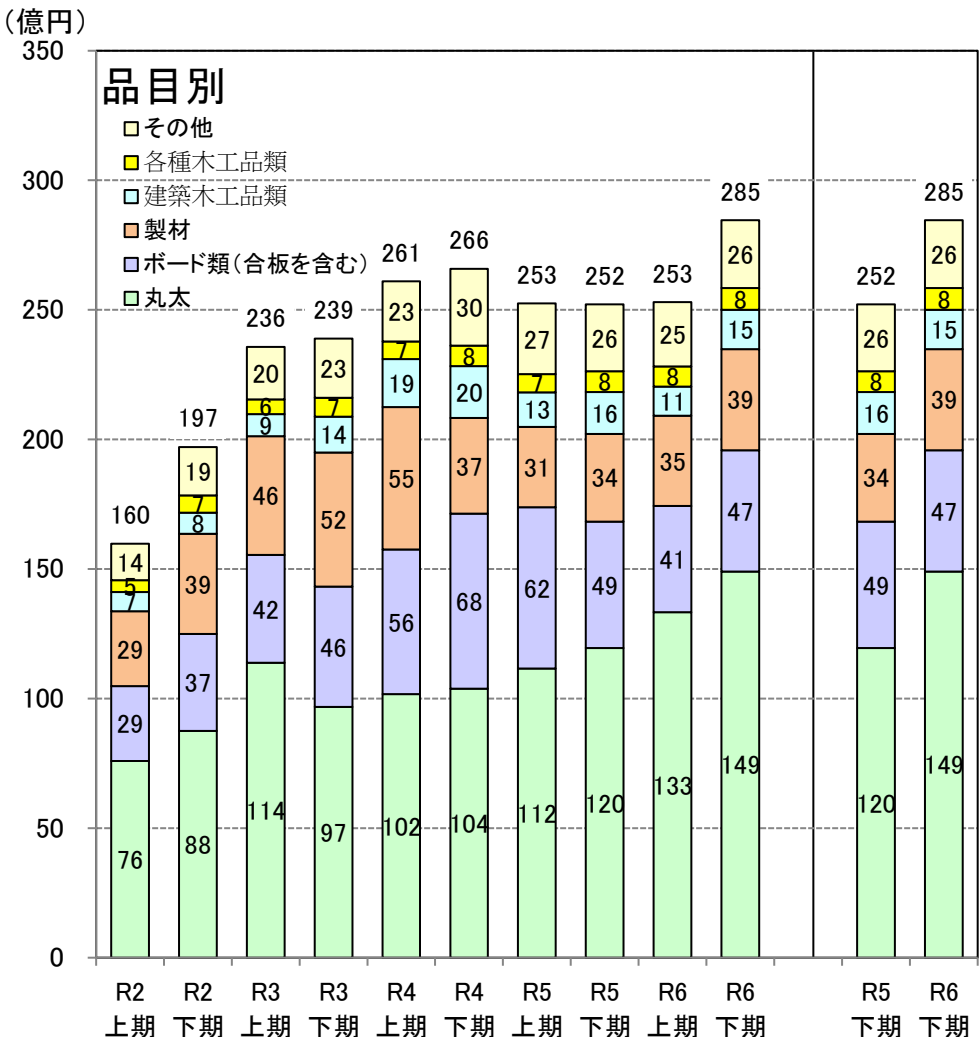
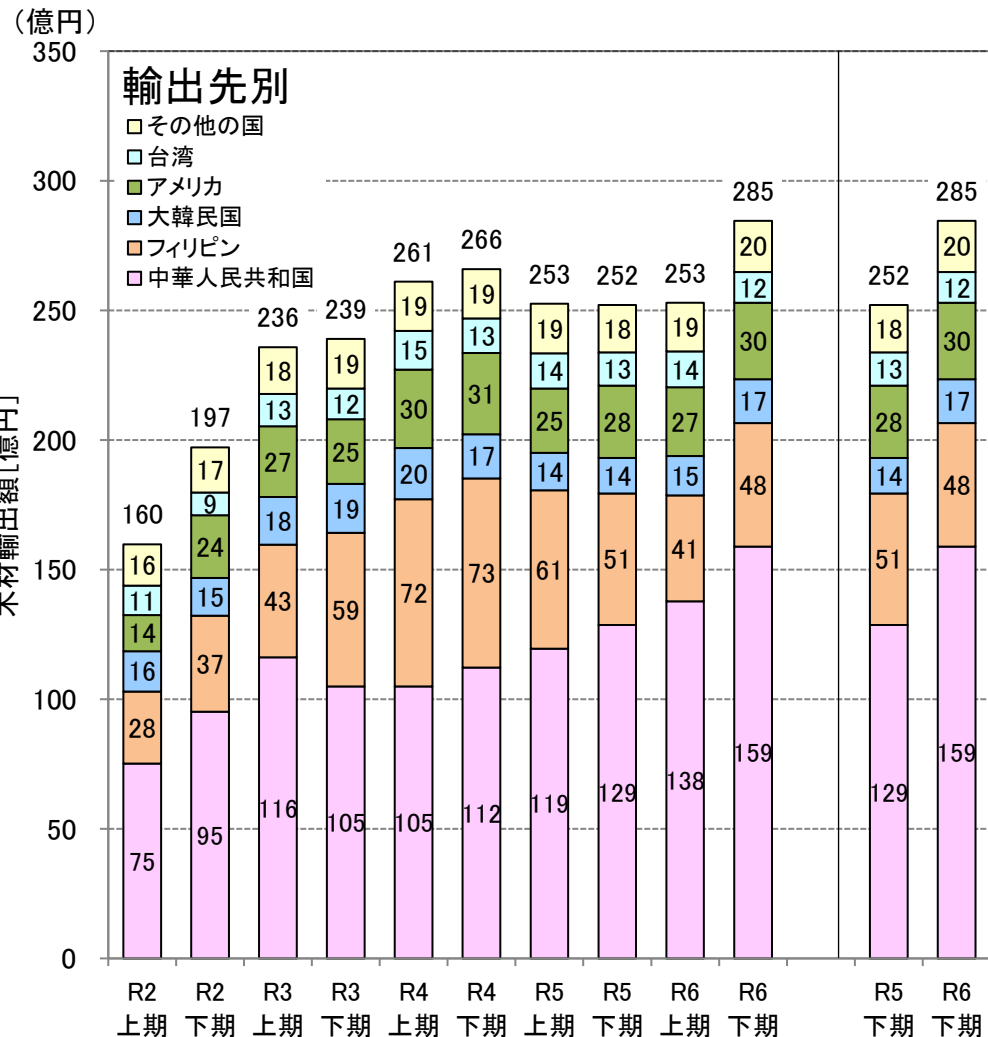


出典：Yahoo! ファイナンス(毎月の値は月初日の終値)

(注)：令和7年2月26日現在

輸出先別及び品目別の木材輸出額の推移（全国）

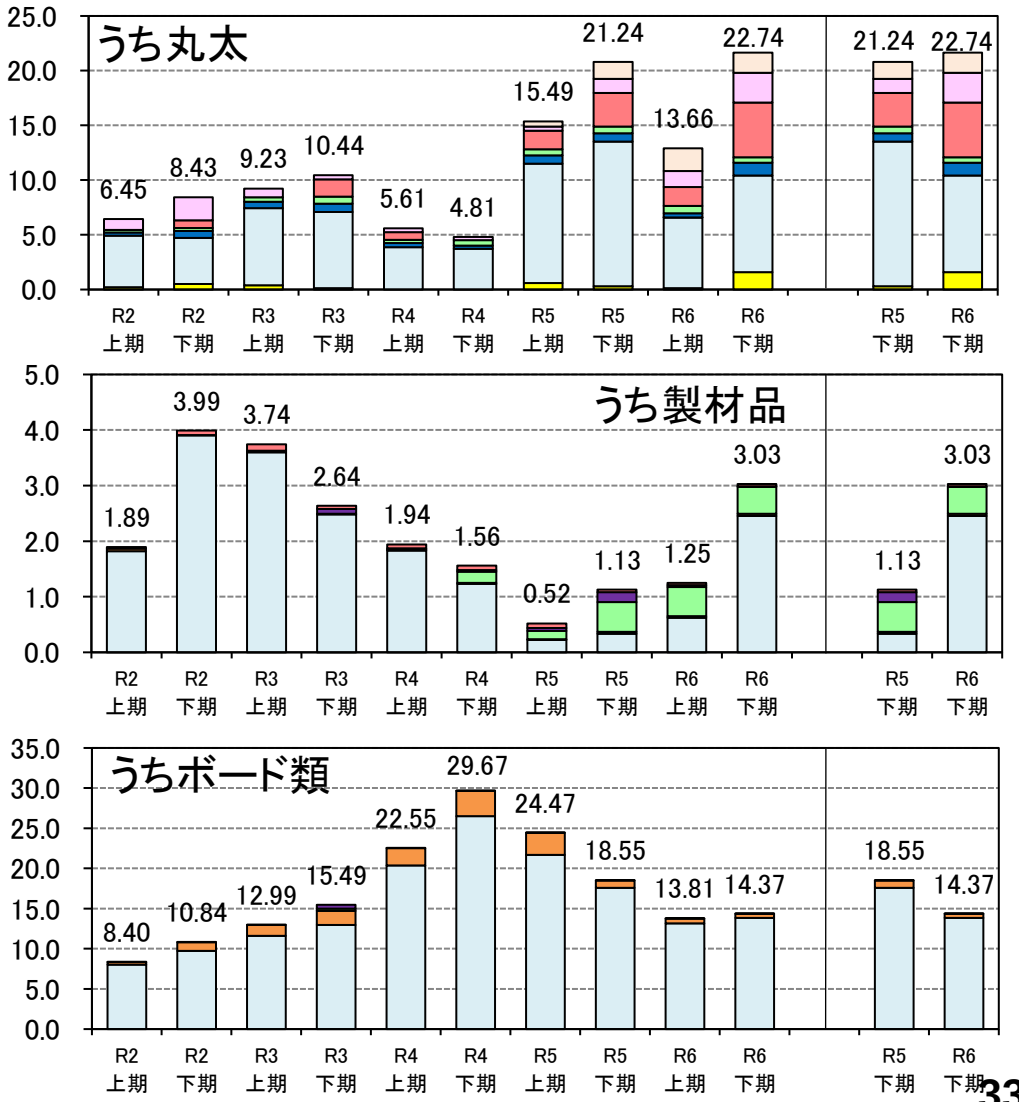
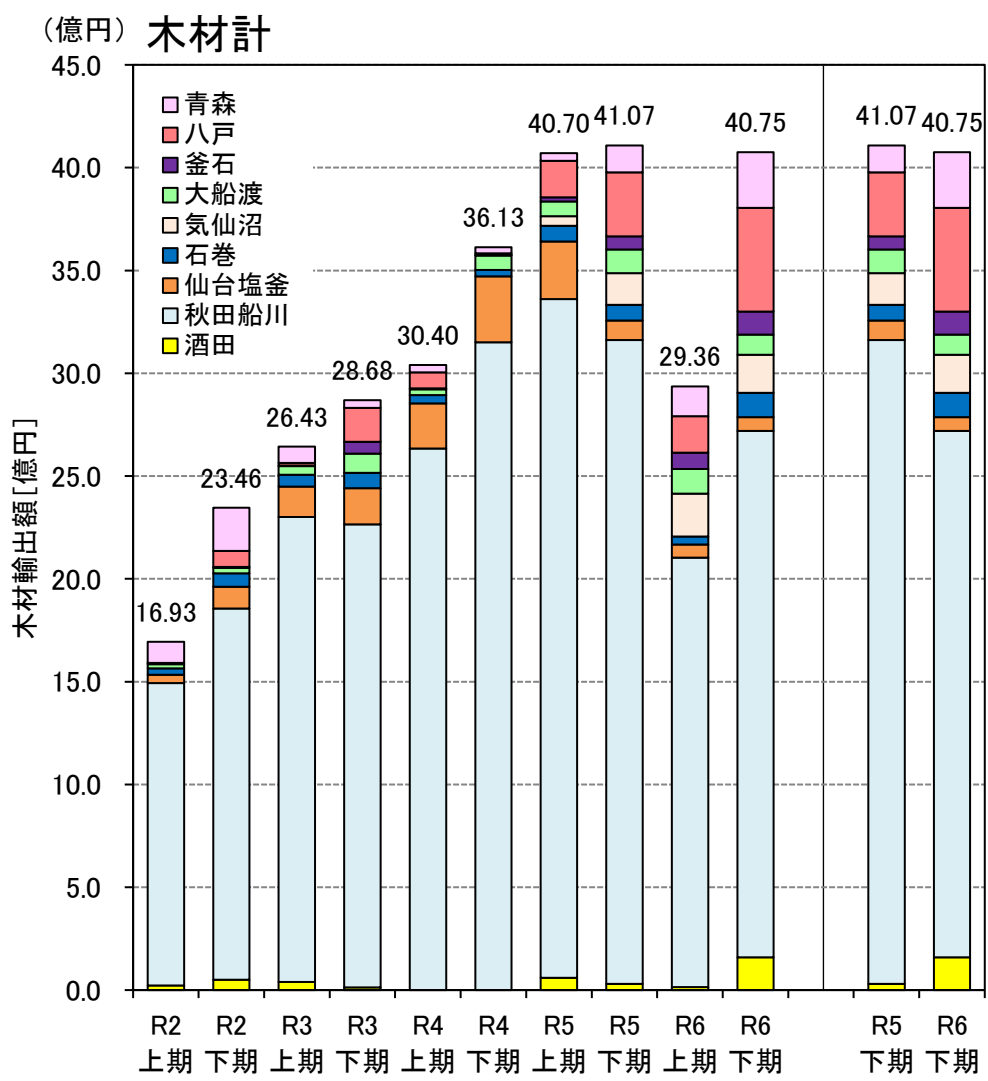
- 木材輸出額はR6年下期を昨年同期と比較すると+13%となっている。
- R6年下期の主要相手国は、中国、フィリピン、アメリカ、韓国、台湾となっている。
- 品目別輸出額は、丸太が最も高く、次いでボード類、製材となっている。
- R6年下期と昨年同期を比較すると、丸太が+25%、ボード類がー4%、製材が+16%となっている。



出典：財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」

■ 東北5県における木材輸出額の推移(品目別)

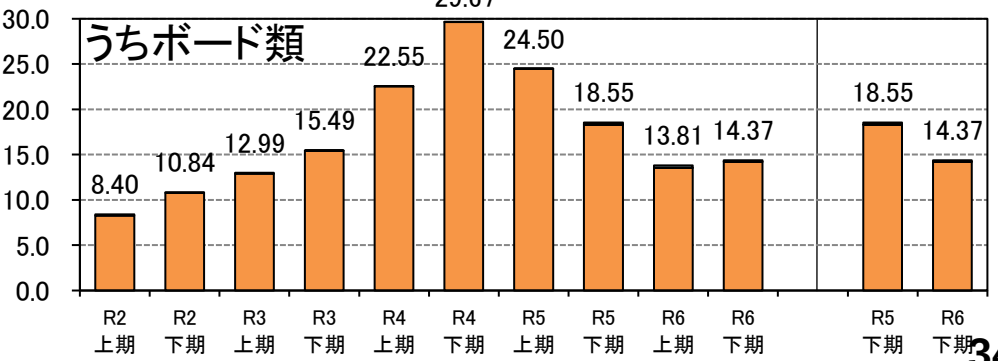
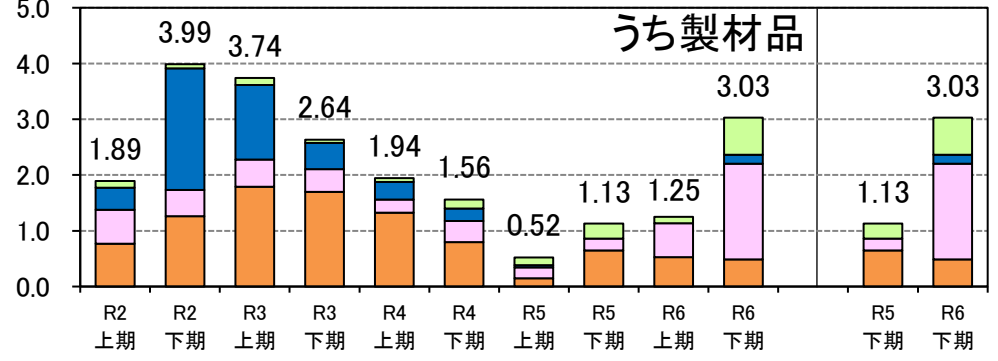
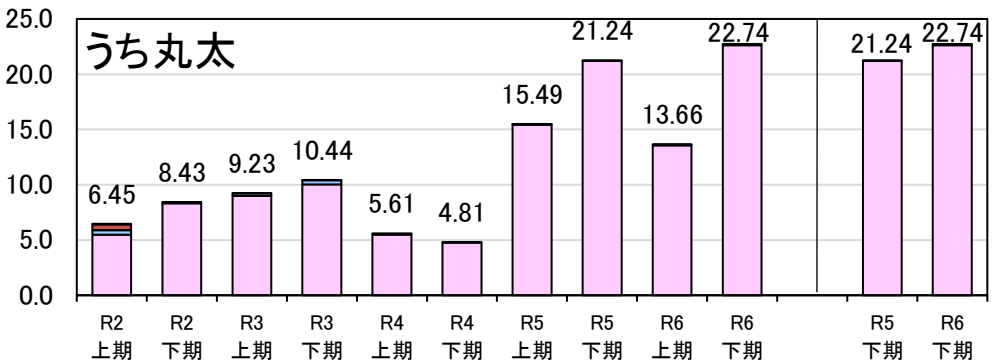
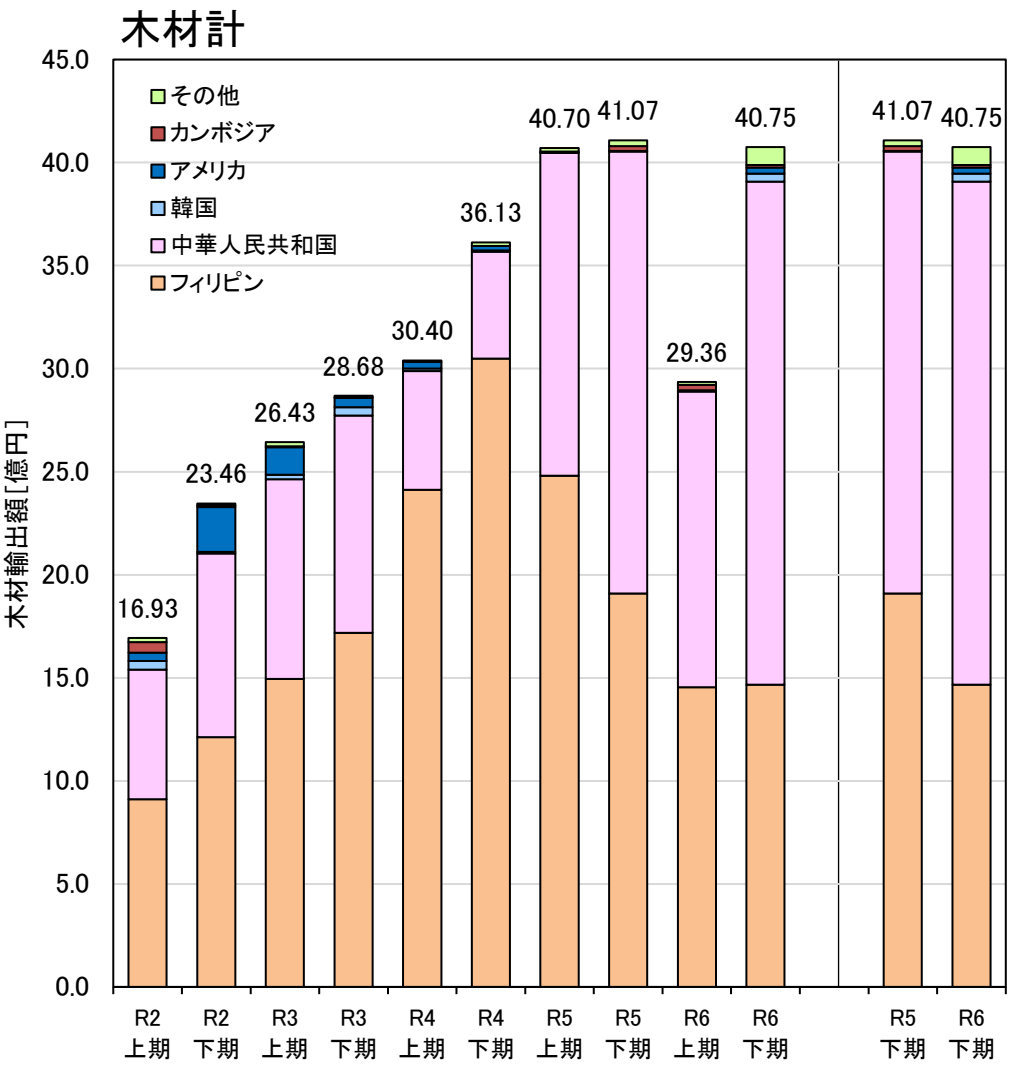
○ R6年下期と昨年同期を比較すると-0.8%となっている。
○ 品目別比較すると、丸太が+7%、製材が+169%、ボード類が-22%となっている。



出典：財務省「貿易統計：統計品別国別税関別一覧表」

■ 東北5県における木材輸出額の推移(輸出先別)

○ R6年下期の木材輸出額は中国が最も多く、次点でフィリピンとなっている。
○ 品目別では、丸太・製材品は中国が最も多く、ボード類はフィリピンが最も多くなっている。



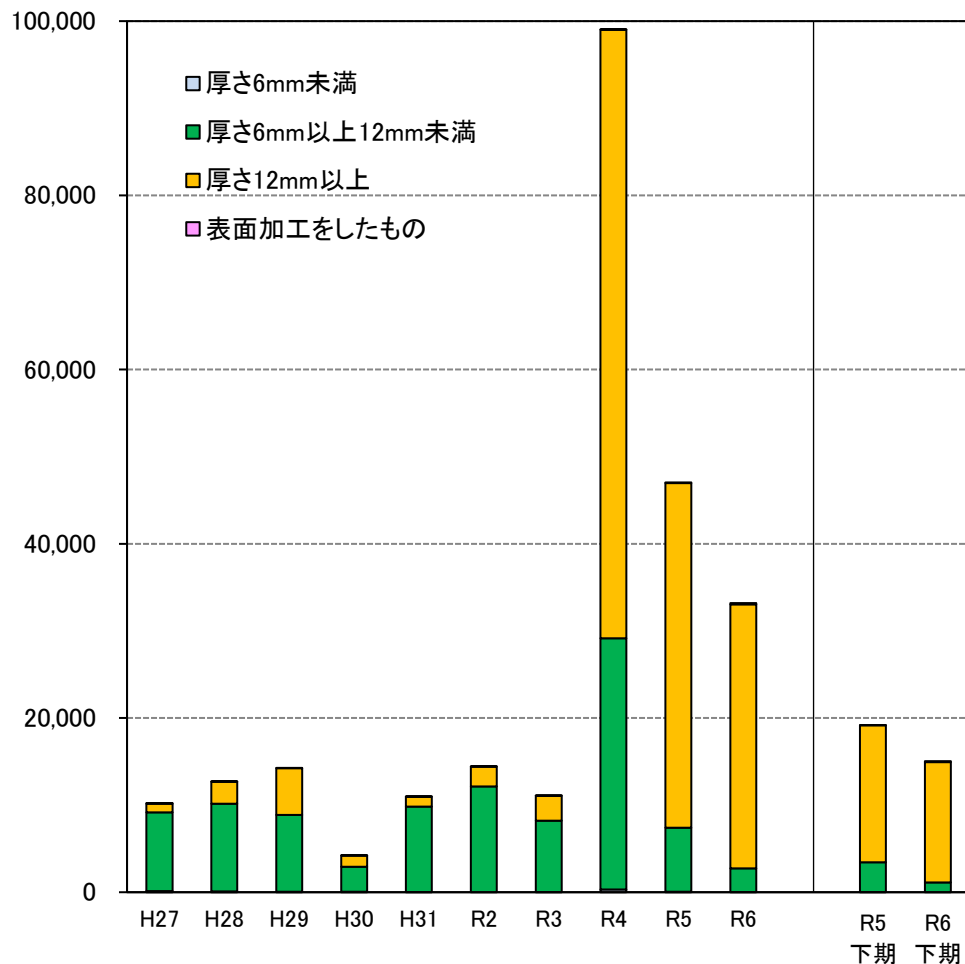
出典: 財務省「貿易統計: 統計品別国別税関別一覧表」

中国からの針葉樹合板の輸入量の推移

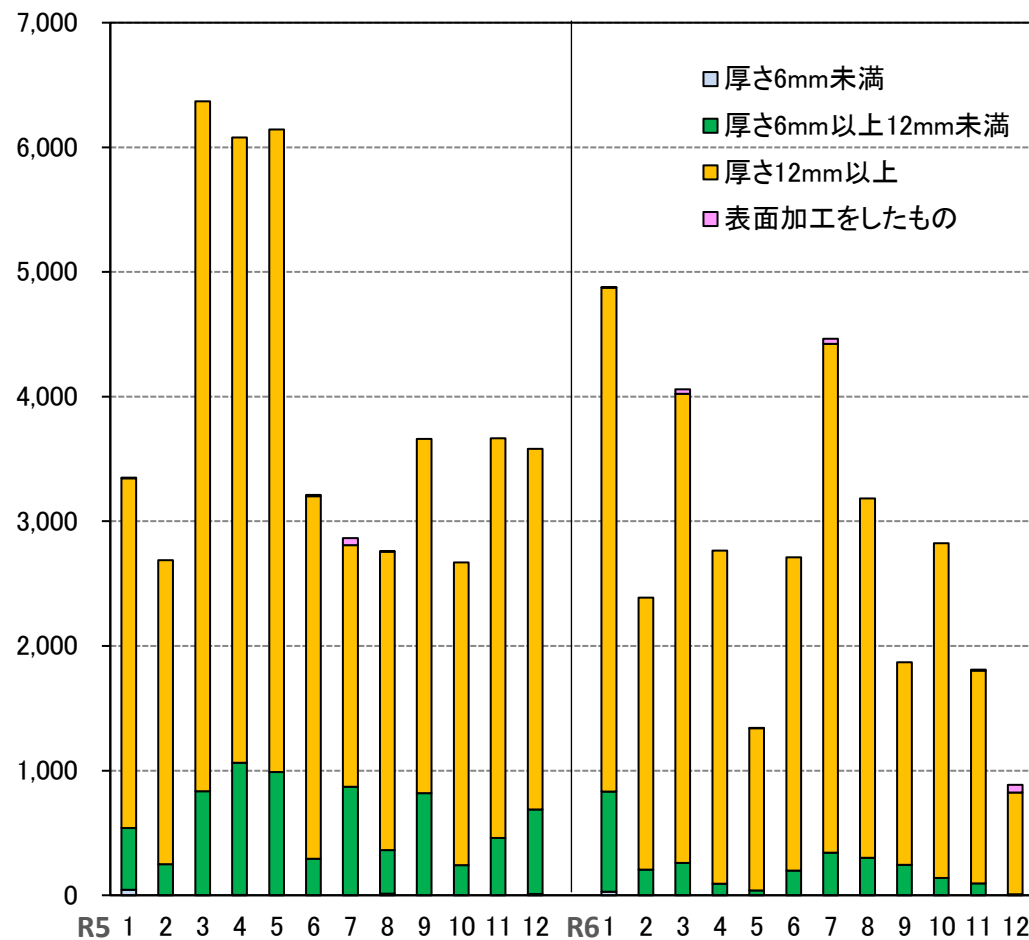
○ R6年下期と昨年同期を比較すると、－20%となっており、年間では前年比－30%。

○ 輸入量はR4年をピークに年々減少している。

中国からの合板輸入量(年別)

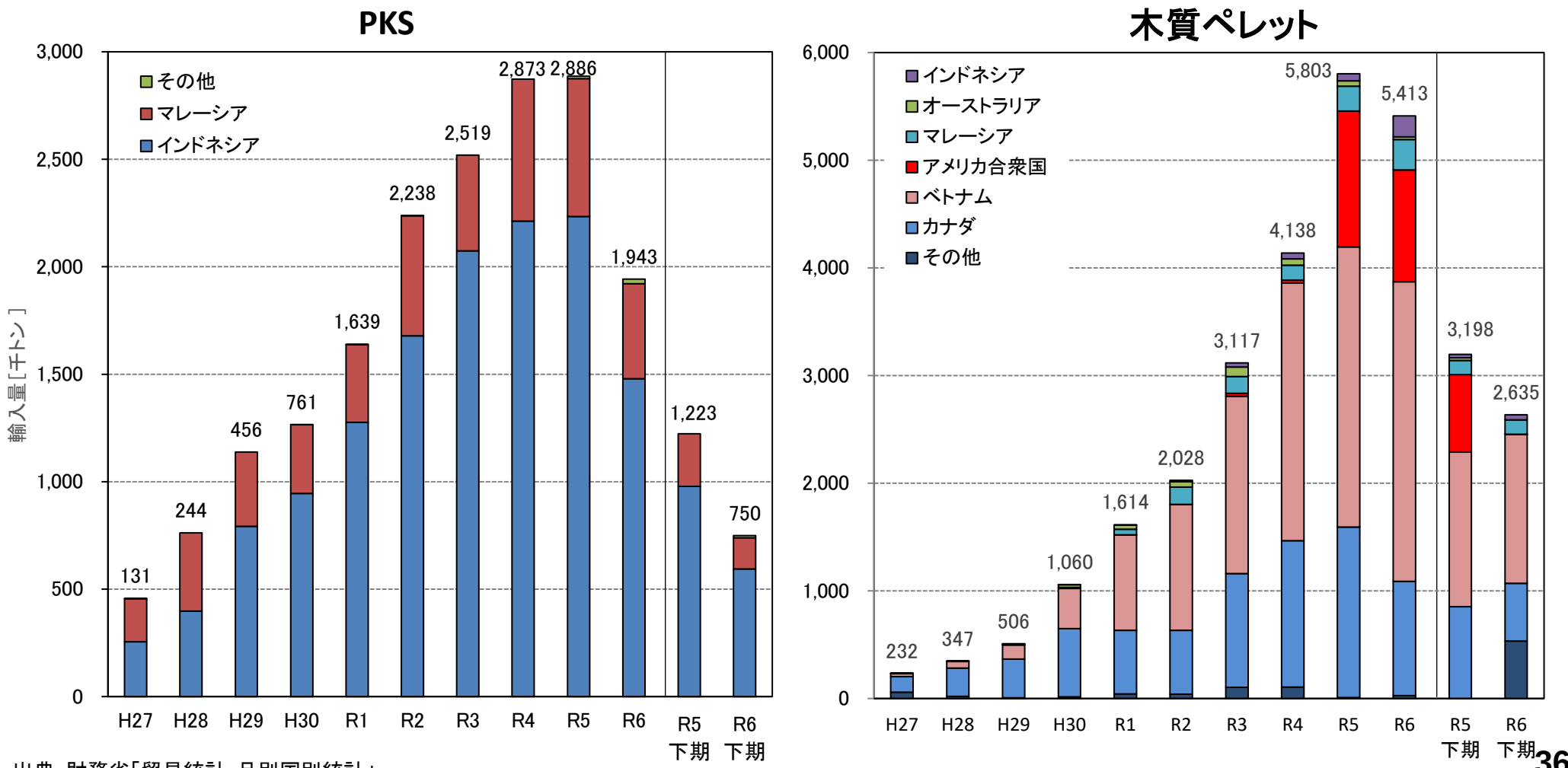


中国からの合板輸入量(R5・R6月別、m³)



PKS・木質ペレットの輸入量の推移

- PKS輸入量は、R6年下期と昨年同期を比較すると－39%で、年間では前年比－33%。
- R6下期の主な輸入相手国は、インドネシア(79%)、マレーシア(19%)。
- 木質ペレット輸入量は、R6年下期と昨年同期を比較すると－18%で、年間では前年比－7%減。
- R6下期の主な輸入相手国は、ベトナム(53%)、カナダ(20%)、マレーシア(5%)。



出典: 財務省「貿易統計: 品別国別統計」

補足資料

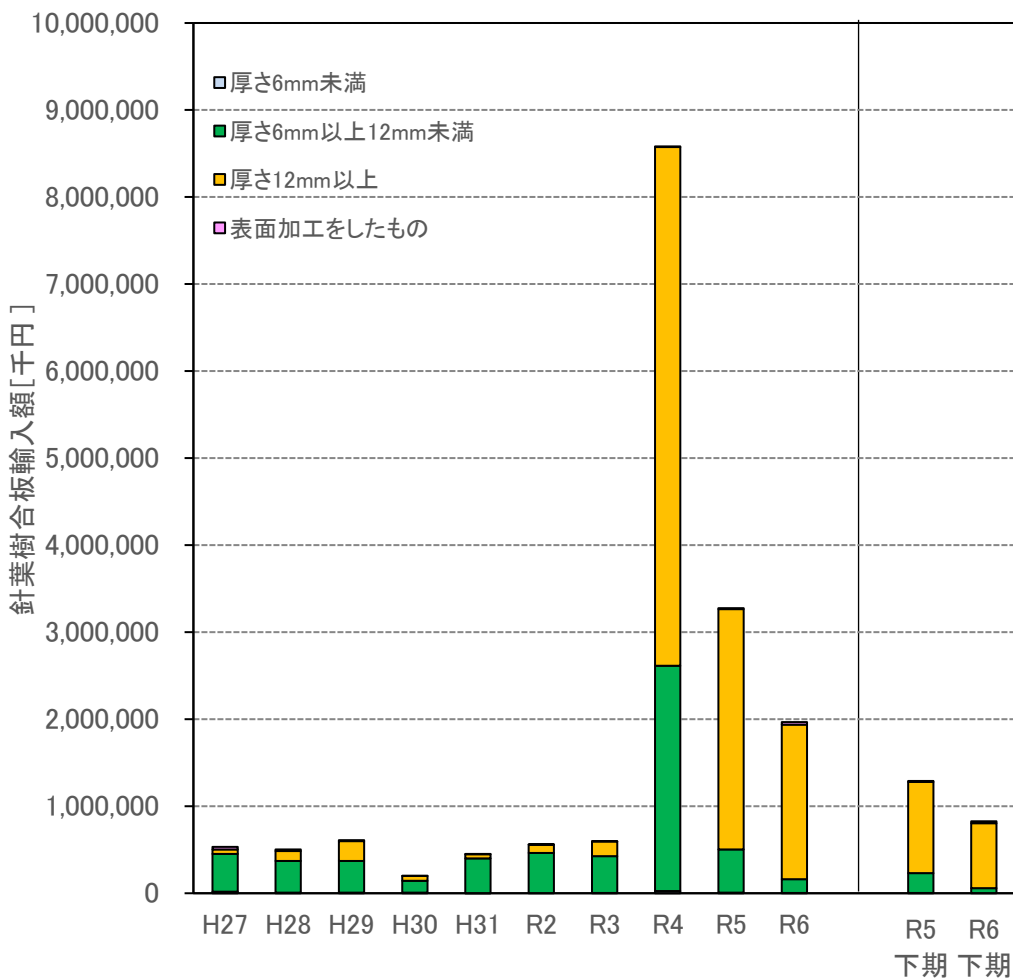
- 中国からの針葉樹合板の輸入額の推移
- PKS・木質ペレットの輸入額の推移

中国からの針葉樹合板の輸入額の推移

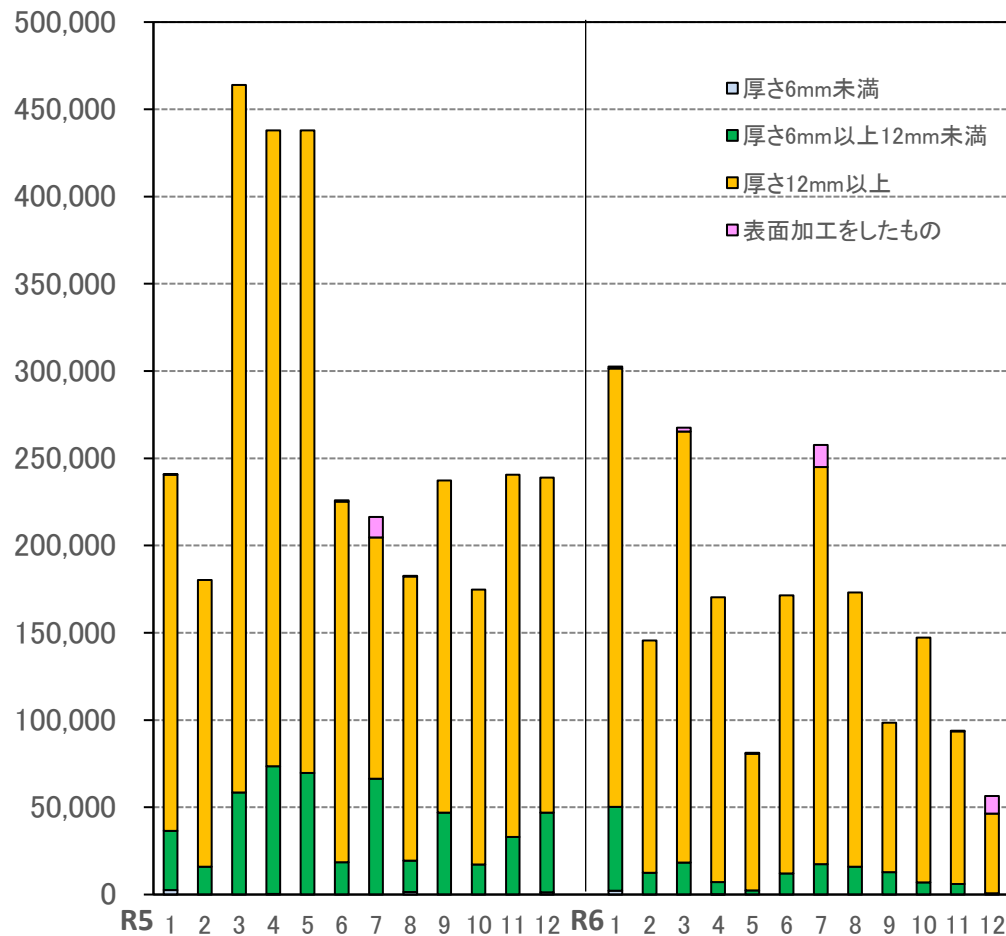
○ R6年下期と昨年同期を比較すると－36%となっており、年間では前年比－40%。

○ 輸入額はR4年をピークに年々減少している。

中国からの合板輸入額(年別)

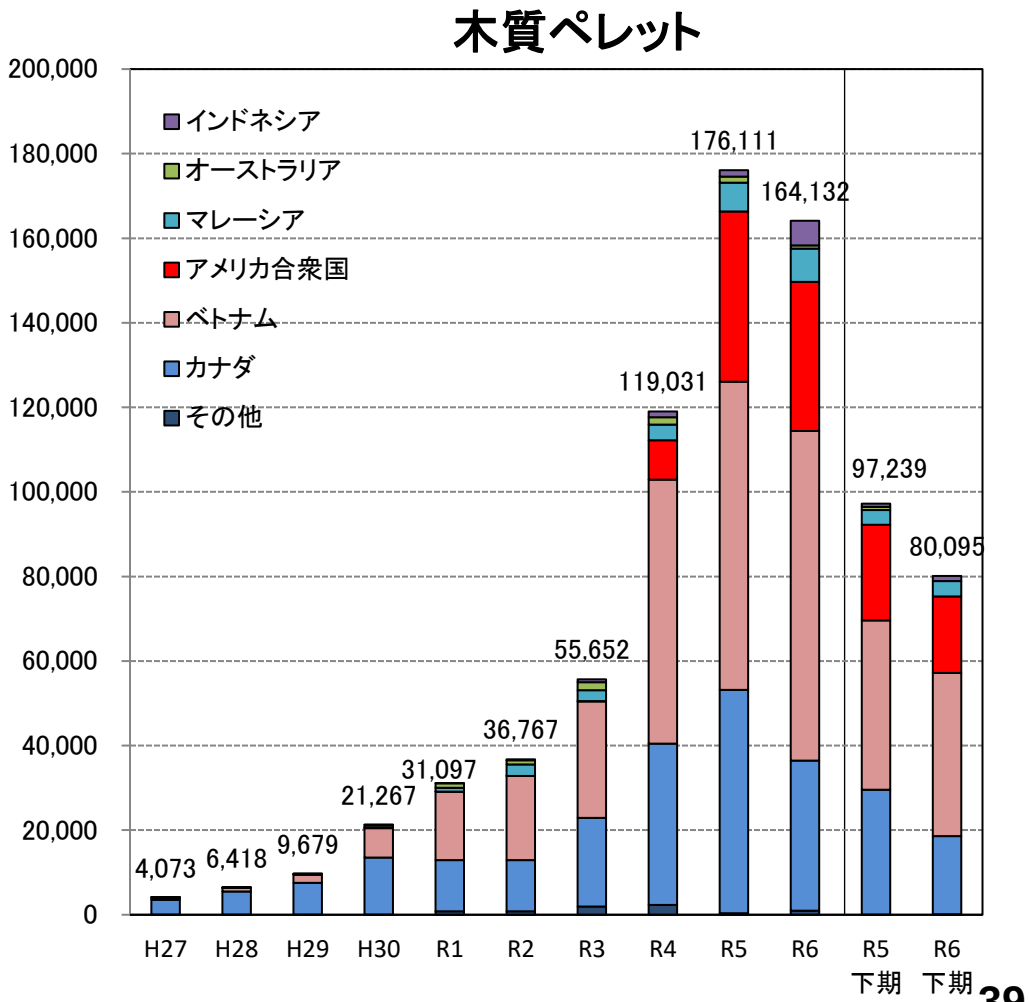
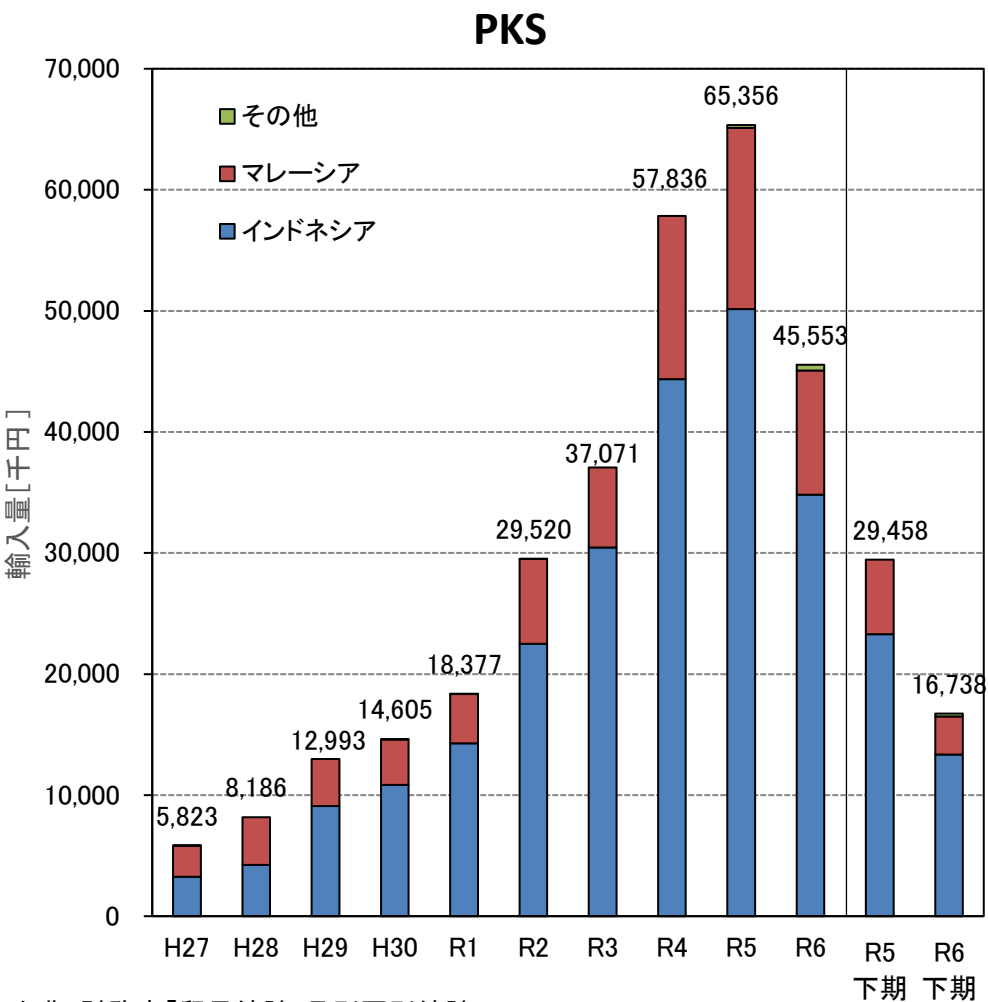


中国からの合板輸入額(R5、R6月別、千円)



■ PKS・木質ペレットの輸入額の推移

- PKS輸入額は、R6年下期と昨年同期を比較すると－43%で、年間では前年比－30%となっている。
- R6下期の主な輸入相手国は、インドネシア(80%)、マレーシア(20%)。
- 木質ペレット輸入額はR6年下期と昨年同期を比較すると－18%で、年間では前年比－7%となっている。
- R6下期の主な輸入相手国は、ベトナム(48%)、カナダ(23%)、アメリカ(23%)、マレーシア(5%)。



出典：財務省「貿易統計：品別国別統計」